

令和4年度南丹市市民参加と協働の実施計画 変更箇所一覧

ページ	変更項目	変更内容	備考	担当課
1	南丹市定住促進アクションプラン	実施時期追記		地域振興課
3	南丹市健幸まちづくり推進協議会	実績追記		保健医療課
3	南丹市地域創生会議	実施時期・実績追記		企画財政課
5	南丹市プロポーザル審査委員会	新規追加		総務課
5	南丹市指定管理者選定評価委員会	新規追加		総務課
6-1	市政懇談会	実施時期・実績追記	まちづくり協働員との懇談	秘書広報課
6-1	出前講座	実績追記	申し込みがなかったことによる	秘書広報課
7	市民意識調査	実施時期・実績追記		企画財政課
7	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	実施時期・実績追記		高齢福祉課
7	在宅介護実態調査	実施時期・実績追記		高齢福祉課
8	インターンシップ実習生の受入	実施時期・実績追記		人事課
9	景観協定	実績追記		地域振興課
10	子育て支援関係団体意見交流会	実施時期・実績追記	南丹市子育てサークル交流事業として親子向けのイベントを協働で開催した	子育て支援課
10	子育て広場での意見箱設置	実績追記		子育て支援課
10	南丹市政へのご意見箱	実施時期・実績追記		秘書広報課
11	ひとり親家庭生活支援事業	実施時期・実績追記		子育て支援課
11	京都府管理河川環境整備作業委託	実績追記		道路河川課
11	婚活支援事業委託	実施時期・実績追記		子育て支援課
11	学生交流プロジェクト	実施時期・実績追記		地域振興課
12	男女共同参画事業『キラリなんたん』	実施時期・実績追記		人権政策課
12	人権講演会やフォーラム	実施時期・実績追記		人権政策課
12	美山サイクルロード	実施時期・実績追記		市民協働室
12	京都丹波トライアスロン大会	実施時期・実績追記		市民協働室
12	美山ふるさと祭	実績追記	新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は実施していない	市民協働室
12	なんたん健幸ポイント	実施時期追記		保健医療課
12	美山かやぶきの里ワンデーマーチ	実績追記	新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は実施していない	市民協働室
12	ひよし水の杜フェスタ	実績追記	新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は実施していない	市民協働室

令和4年度南丹市市民参加と協働の実施計画 変更箇所一覧

ページ	変更項目	変更内容	備考	担当課
13	交通安全活動	実績追記		危機管理対策室
13	南丹市子育てすこやかセンター事業	実績追記		子育て支援課
13	ふるさと道路・河川愛護活動	実績追記		道路河川課
13	障害者相談員設置事業	実施時期・実績追記		社会福祉課
14-1	南丹市まちづくり活動交付金	実施時期・実績追記		地域振興課
14-1	南丹市学校提案型まちづくり活動交付金	実施時期・実績追記		地域振興課
14-1	南丹市学生提案型まちづくり活動交付金	実施時期・実績追記		地域振興課
14-1	自主防災組織育成事業	実績追記		危機管理対策室
14-1	南丹市管理道路・河川等清掃補助金交付	実績追記		道路河川課
14-1	空き家掘り起こし事業	実施時期・実績追記		地域振興課
14-1	空き家掃除お助け事業	実施時期・実績追記		地域振興課
14-1	南丹市資源ごみ集団回収事業	実施時期・実績追記		環境課
14-2	まちづくり活動に必要な機材、備品、書籍の貸出、名刺作成	実施時期・実績追記	※R4.12月末時点	まちづくりデザインセンター
14-2	ひとものカタログ	実施時期・実績追記	今年度カタログの更新予定なし	地域振興課 まちづくりデザインセンター
14-3	食育推進事業	実績追記		保健医療課
14-3	集落の教科書づくりの推進	実施時期・実績追記		地域振興課
16	市民活動団体交流事業	実施時期・実績追記		地域振興課 まちづくりデザインセンター
17	相談・紹介事業	実施時期・実績追記	※R4.12月末時点	地域振興課 まちづくりデザインセンター
17	情報収集及び発信事業	実施時期・実績追記	※R4.12月末時点	地域振興課 まちづくりデザインセンター

南丹市市民参加と協働の実施計画 令和4年度計画・実績

(令和4年12月末現在)

変更部分を赤字にしております。

目次

ページ番号	タイトル
1	第1章 この実施計画の位置付け 1. 実施計画作成の目的 2. 作成の方法 3. 計画の見直し
2	第2章 市民参加
3	(1) パブリックコメント
4	(2) 市民ワークショップ
5	(3) 審議会、委員会等による調査及び審議
14	(4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座
18	(5) アンケート
19	(6) 共同研究
20	(7) 市民との協定
21	(8) その他の市民参加手続きの実施
22	第3章 協働
23	(1) 事業の委託
25	(2) 協働（共催）
27	(3) 協働（事業協力）
28	(4) 協働（支援・補助）
32	第4章 仕組み
33	(1) 情報の積極的な発信
34	(2) 意見交換の場や交流の仕組み
35	(3) ひと・もの・コトをつなぐ仕組み

第1章 この実施計画の位置付け

1. 実施計画作成の目的

本計画は「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」第11条の規定に基づき、市民が主体の魅力あるまちづくりを実現するため、まちづくりについて市民と行政と一緒に考え話し合う機会づくりや、市民がまちづくりに参画するための情報提供をまとめ公表するものです。

2. 作成の方法

本実施計画は、令和2年度から4年度の3年間を計画期間とし、「市民参加」と「協働」そしてそれらを推進するための「仕組み」の3つの構成により作成することとし、現在、市役所の各所属で実施されている又は今後実施が予定されている施策や事業についての現状と今後の計画等を調査し、それらを取りまとめ作成します。

3. 計画の見直し

本計画の実施状況は、南丹市市民参加と協働の推進に関する条例第12条に定める第三者委員会に報告を行うこととし、市民ニーズや市民参画と協働の推進状況において大きな変化があれば、必要に応じて見直しを行うこととします。

なお、各所属で実施予定の施策や事業については毎年調査を行い更新します。

※本計画は、令和4年度の計画・実績のみ掲載したものです。

第2章 市民参加

行政の施策等において、その企画立案から決定に至るまでの過程で市民が主体的にさまざまな意見を述べ、提案することで、市政に対して積極的・自主的に参加し、それらを反映させる仕組みをいいます。

Citizen participation

市の制度や計画のほとんどは行政が主体的にその制定や樹立を行っていますが、市民のみなさんが主体の魅力あるまちを実現するためには、市民のみなさんの意見が市政に反映できる仕組みづくりが必要です。その仕組みである市民参加の実現は、現代社会の多様なニーズに対応し、それぞれが満足感の高い豊かなまちづくりにも繋がります。まずは、市民と行政がそれぞれに力を入れすぎず、構えず、気軽な相談や意見交換ができる環境づくりが必要です。

1. 市民参加の手続

南丹市市民参加と協働の推進に関する条例により市民参加の手続を次に掲げるとおりとし、積極的に推進します。

- (1) パブリックコメント制度の活用を積極的に進めます。
- (2) ワークショップ委員を公募し、計画策定への参画を積極的に進めます。
- (3) 審議会等への市民公募委員の参画を積極的に推進します。
- (4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座を開催します。
- (5) ニーズ把握のためのアンケートを実施します。
- (6) 共同研究を積極的に進めます。
- (7) 市民との協定による新たなまちづくり施策等の実施を積極的に進めます。
- (8) その他市民の意見を市政に反映するための取組みを実施します。

(1) パブリックコメント

施策等の企画立案に当たり、趣旨や目的などを公表し、計画を作成している最中に市民の意見を聞き、計画自体に反映させる手続きです。投稿用紙を市役所（本庁および各支所）窓口に設置するとともに、南丹市のホームページなど様々な広報媒体を活用し意見を求めます。

計画						実績			担当課
名称	概要	前計画期間に行ったもの	本計画期間における予定	意見を提出できる方	ご意見の提出方法	実施時期	実績	備考	
南丹市定住促進アクションプラン	本市の定住促進に向けた実効性のある施策などを具体的に示すものです。	H30.2	R5.2~3	市内に住所を有する方、市内に事務所、事業所を有する個人及び法人その他団体、事務所、事業所に勤務する、学校に在学する、市税の納税義務を有する方	郵便、ファクシミリ、電子メール、直接持参	R5年2月8日 ～ R5年3月2日	回答0件(未済)		地域振興課

(2) 市民ワークショップ（計画）

行政がさまざまな計画を立案する際に市民のみなさんと一緒に検討するための「ワークショップ」を開催しています。その際、ワークショップ委員を公募し、意見を求めます。

計画						実績			担当課
名称	概要	前計画期間に行ったもの	本計画期間における予定	応募できる方	応募方法	実施時期	実績 (参加者数等)	備考	
計画なし									

(3) 審議会、委員会等による調査及び審議（計画）

まちをよくするために行政が樹立するさまざまな計画などに市民のみなさんの意見が直接反映できるよう、事業の内容に応じて審議会などの付属機関を設置し、特に専門性を必要とする場合や個人情報を含む場合を除いて、その審議会や委員会を構成する委員の一般公募を推進しています。一般公募している事業等は次のとおりです。
 ※審議会委員などへの参画を希望される方は、南丹市ホームページ審議会・委員会のページもしくはお知らせ版による募集の告知をご覧ください。
 ※特に資格や経験などの専門性を有する審議会や委員会については、一般的な公募を行うことなく条例や要綱の定めにより、関連する団体を通して委員を推薦いただき直接的に就任をお願いする場合があります。

（市民公募を行っている審議会等）

計画							実績			担当課
名称	概要	委員数 公募：条例 〔全体：条例〕	公募目標 （前期実績）	任期 公募時期	応募資格	公募以外の委員	公募期間	公募結果	備考	
南丹市健康まちづくり推進協議会	協議会は、住民の健康づくりと幸せなまちづくりのため総合的な方策を研究協議し、地域の実情に応じた対策に関し市長に助言し、その推進を図ります。	20人 〔20人以内〕	2人（1人）	任期2年 令和4年4月1日 ～ 令和6年3月31日	市議会議員、学識経験者、関係行政機関職員、健康推進に関係する住民組織等代表者、前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者	健康で幸せなまちづくりを南丹市で実践しておられる方	令和4年6月10日 ～ 令和4年6月30日	募集：1名 採用：1名		保健医療課
南丹市地域創生会議	南丹市人口ビジョン及び南丹市地域創生戦略に関し審議し、戦略に基づき実施した施策・事業を検証する。	若干名 〔10人以内〕	1人（1人）	任期2年 令和4年6月頃予定	市内に在住、在勤又は在学する18歳以上の者（高校生を除く。）。ただし、本市の議会議員及び職員を除く。	産業界関係者、行政機関関係者、教育機関関係者、金融機関関係者、労働団体関係者、報道機関関係者、その他市長が必要と認める者	R4年6月15日 ～ R4年7月1日	募集：1名 採用：1名		企画財政課

(現在公募を行っていないが、公募の導入を検討している審議会等)

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募委員数の目標	選任方法	備考欄 (検討状況)	担当課
南丹市行政評価推進委員会	市の実施する行政評価について、第三者の視点から調査、審議し、市長に改善案等を助言します。	1人 〔5人以内〕	1人	経営及び行政評価について、優れた見識を有する	効果的な行政評価の手法を検討中のため、評価実施後に委員会の開催を検討（継続して検討）	人事課
南丹市地域公共交通会議	地域の実情に応じた輸送サービスの実現に必要な事項の協議を行います。	22人 〔25人以内〕	1人	一般旅客自動車運送事業者、近畿運輸局京都運輸支局長、近畿運輸局京都運輸支局長、京都府南丹警察署 等	導入を検討中 (継続して検討)	地域振興課
南丹市文化センター運営審議会	南丹市内に設置した文化センター及び児童館の運営について調査、審議し運営の推進を図ります。	17人 〔20人以内〕	1人	自治会等地域住民団体の代表者、教育関係者、社会福祉関係者、学識経験者等	公募実施に向け検討中	人権政策課

(専門性を有するなどの理由で公募を行っていない審議会等)

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課
南丹市防災会議	災害対策基本法第16条第6項の規定に基づき、南丹市地域防災計画を作成し、その実施を推進する。また、市の地域に係る防災に関する重要事項を審議します。	41人 〔45人以内〕	専門性を有する協議であるため、公募は行わない。	市民の安全・安心を確立するため、防災関係機関からの推薦により、委嘱している。	指定地方行政機関の職員、京都府の職員、警察官、南丹市職員、教育委員会、消防団関係者、指定公共機関又は指定地方公共機関の職員、自主防災組織を構成する者又は学識経験者	危機管理対策室
南丹市国民保護協議会	南丹市の区域に係る国民の保護のための措置に関し、広く住民の意見を求め、市の国民の保護のための措置に関する施策を総合的に推進します。	40人 〔40人以内〕	専門性を有する協議であるため、公募は行わない。	市民の安全・安心を確立するため、防災関係機関からの推薦により、委嘱している。	指定地方行政機関の職員、京都府の職員、警察官、南丹市職員、教育委員会、消防団関係者、指定公共機関又は指定地方公共機関の職員、自主防災組織を構成する者又は学識経験者	危機管理対策室
南丹市消防委員会	消防組織法(昭和22年法律第226号)第6条に規定する南丹市が責任を果たすべき消防に関し、必要な事項を調査審議し、市長の諮問に答え、又は建議します。	10人 〔10人以内〕	専門性を有する協議であるため、公募は行わない。	消防団員の幹部を委員として構成している。	消防団員、学識経験者	危機管理対策室
南丹市情報公開審査会	情報公開の可否の決定に係る不服申立てに対する裁決又は決定の諮問について調査及び審議を行います。	4人 〔5人以内〕	審議内容が情報公開請求に係る決定に対する個々の不服申立てに関する調査、審議であり、専門的な知識経験を有する方に依頼をしているため。	機密や守秘義務に関する案件を扱う審査会のため、受益者等を公募する選定方法は、馴染まない。	知識経験を有する者	総務課
南丹市個人情報保護審議会	個人情報開示の可否の決定に係る不服申立てに対する裁決又は決定の諮問について調査及び審議を行う等、南丹市個人情報保護条例により審議会の権限に属することとされた事項を行います。	4人 〔7人以内〕	審議内容が個人情報の開示等に関する調査、審議であり、専門的な知識経験を有する方に依頼をしているため。	個人情報を扱う審査会のため、受益者等を公募する選定方法は、馴染まない。	知識経験を有する者	総務課
南丹市特別職報酬等審議会	市長、副市長及び教育委員会教育長の給料の額や、議会の議員報酬、非常勤の特別職の報酬の額等について審議します。	4人 〔10人以内〕	専門性を有する協議であるため、公募は行わない。	特別職等の報酬について審議するため、受益者等公募委員の考えには沿わない。	知識経験を有する者	人事課

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課
南丹市交通安全対策審議会	交通安全計画への答申など、交通安全に関する基本的事項を調査・審議します。	18人 〔20人以内〕	専門性を有する協議であるため、公募は行わない。	交通対策の受益者からなる各種団体から代表者を選出いただいている。	市議会議員、教育委員会委員、所轄の警察署員、市内教育機関の職員、各種団体の役員、消防団の代表者等	危機管理対策室
南丹市建設事業等執行審議会	市内における土木、建築等の工事の円滑な執行に関し必要な事項を調査及び審議します。	5人 〔10人以内〕	入札・契約制度を審議するにあたり、専門的知識を要するとともに、事案があった場合の開催であるため市民公募にはなじまない。	公平・中立の観点から、受益者等当事者は、建設業等の事業者となるため、審議会の目的になじまない。	教育委員会委員、各種関係団体代表、学識経験を有する者	監理課
南丹市入札監視委員会	市が発注する建設工事について、入札及び契約の過程並びに契約の透明性と公正な競争を確保するため審議を行います。	5人 〔5人以内〕	南丹市建設事業等執行審議会の内部組織であるため、上記と同様とする。	公平・中立の観点から、受益者等当事者は、建設業等の事業者となるため、審議会の目的になじまない。	南丹市建設事業等執行審議会の委員による	監理課
南丹市公共事業再評価審査委員会	市が実施する公共事業のうち、長期間を経過したものについて再評価を行い、必要に応じ事業の見直し等を行うことにより、公共事業の効率性及び実施過程の透明性の一層の向上を図るため審議を行います。	5人 〔7人以内〕	対象事案があった場合の開催であるため、任期中に開催されないことが多くあり、市民公募にはなじまない。	受益者＝市民として、現状で団体の代表を委嘱し、受益者等当事者は参画してもらっている。公募は検討していない。	学識経験者、住民組織等	監理課
南丹市有線テレビ放送番組審議会	KCNなんたんが行うなんたんテレビ放送について、自主放送制作番組基準に基づき放送番組を調査、審議し、必要に応じて意見を述べます。	11人 〔15人以内〕	規則の委員選出基準により各関係機関等に推薦依頼し選出することとしているため。	専門知識を有する団体から選出いただいております。公募は考えていません。	市教育委員会委員、市内各種団体の代表者、学識経験を有する方、行政関係者	情報課
南丹市環境審議会	南丹市の美しいまちづくり及び地球温暖化対策に関する審議等を行います。	10人 〔若干名〕	委員を選任する際に専門知識を有する団体・個人に就任いただく必要があるため。	公募の採用を検討したが、専門知識を有する団体・個人を選任する必要があるため、公募は行わない。	市内の各種団体の代表、学識経験を有する方、行政関係者	環境課

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課
南丹市医療対策審議会	市長の諮問に応じ、南丹市における総合的な医療等のあり方について調査、審議します。	一人 〔15人以内〕	専門的な協議会のため、国民健康保険被保険者代表等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。	専門知識を有する団体から選出いただいております。公募は考えていません。	市議会が推薦する議員、保健、医療及び福祉の関係者、公共的団体等の代表者、学識経験を有する者、その他市長が必要と認める者	地域医療室
南丹市国民健康保険運営協議会	市長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を審議します。 1.一部負担金の負担割合に関すること。 2.保険税に関すること。 3.保険給付の種類及び内容の変更に関すること。 4.保健事業の実施大綱の策定に関すること。 5.前各号に定めるもののほか、市長が国民健康保険の運営に関し重要と認める事項	13人 〔13人〕	専門的な協議会のため、国民健康保険被保険者代表等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。	専門知識を有する団体から選出いただいております。公募は考えていません。	被保険者を代表する委員、保険医又は保険薬剤師を代表する委員、公益を代表する委員、被用者保険等被保険者を代表する委員	市民課
南丹市民生委員推薦会	民生委員法施行令第7条の規定に基づき、民生委員推薦会規則を定め推薦会を実施します。民生委員の確保のため必要です。	14人 〔14人〕	審議内容が個人情報であり、有資格者等専門的な委員での審議をしているため。	専門知識を有する団体から選出いただいております。公募は考えていません。	市議会議員、民生委員、社会福祉事業実施者、社会福祉関係団体代表者、教育関係者、行政職員、学識経験者	福祉相談課
南丹市立障害者支援施設運営委員会	障がいのため就業が困難な方等に対し、生活指導及び作業指導等必要な指導訓練を行い、障害者の自立更生と福祉の向上を図る施設を設置し、その施設の円滑な運営を図るため運営委員会を設置します。	15人 〔24人以内〕	専門的な方、保護者会代表者等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。	受益者等当事者は施設通所者となるが、その保護者会から代表者を選任いただいていることから、公募は考えていません。	学識経験者、市議会議員、保健福祉関係者、障害福祉関係者、社会福祉関係者、事業利用者家族の会 等	社会福祉課
南丹市障害者介護給付費等支給認定審査会	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第15条の規定に基づき、支給認定審査会において、適切な障害者介護給付費等支給認定審査を行います。	10人 〔15人以内〕	審議内容が個人情報であり、有資格者等専門的な委員での審議をしているため。	専門知識を有する団体から選出いただいております。公募は考えていません。	障がいのある方の実情に通じた者のうちから障害保健福祉の学識経験を有し、中立かつ公正な立場で審査が行える者	社会福祉課

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課
南丹市地域自立支援協議会	障がいのある方の相談支援事業など地域の障害福祉のシステムづくりに関し、中核的な役割を果たし、障害福祉サービスの提供体制の確保及び関係機関によるネットワークの構築等に向けた協議を行います。	18人 〔20人以内〕	専門的な方、当事者団体代表者等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。	受益者＝市民として、現状で団体の代表を委嘱し、受益者等当事者は参画してもらっている。公募は考えていない。	学識経験者、保健福祉関係者、障害福祉関係者 等	社会福祉課
南丹市子育て発達支援センター運営委員会	障がいのある児童や発達支援の必要が認められる児童に対する必要な指導、訓練及び相談を行う南丹市子育て発達支援センターの円滑な運営を図ります。	15人 〔15人以内〕	専門的な方、保護者会代表者等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。	受益者等当事者は施設通所者となるが、その保護者会から代表者を選任いただいていることから、公募は考えていない。	学識経験者、市議会議員、保健福祉関係者、障害福祉関係者、社会福祉関係者、事業利用者家族の会、保育所・幼稚園・学校関係者 等	社会福祉課
南丹市介護認定審査会	申請者の「基本調査にもとづく一次判定結果」「調査時の記述事項」「主治医による意見書」の内容をもとに審査・判定し、介護度等を判定します。	20人 〔20人以内〕	専門性を有するため公募は行わない。	引き続き専門性を有する者での組織化が必要である。	保健・医療・福祉の各分野に関する学識経験者	高齢福祉課
南丹市高齢者福祉センター運営委員会	南丹市高齢者福祉センターの運営について調査及び審議し運営の推進を図ります。	10人 〔15人以内〕	高齢者福祉センターがある地域の利用者に参加いただいている。また、参加いただきたい関係機関にも推薦依頼をし、選出いただいているため。	受益者＝各センターがある地域の利用者に参加いただいているため、現在のところ、公募は考えていない。	市議会議員、民生委員協議会、社会福祉協議会長、老人クラブ連合会会長、利用者代表等	高齢福祉課
南丹市高齢者虐待防止ネットワーク会議	家庭内等における高齢者虐待の防止に向けて、関係機関の連携を図り、早期発見や未然防止対策等について協議します。	14人 〔15人以内〕	専門性を有するため公募は行わない。	引き続き専門性を有する者での組織化が必要である。	保健、医療及び福祉関係者、介護保険事業関係者 等	高齢福祉課
南丹市農業振興推進協議会	農業の振興及び条件整備を図るため、農業政策に関し必要な施策について審議します。	13人 〔30人以内〕	農業施策に関する専門的な内容での協議を要するため、条例に掲げた組織等からの推薦者や、農業指導士・女性農業士等から選任し構成する。	当事者としても専門性を有する団体・個人の中から選任しており、公募は予定していない。	市農業委員会委員、農業団体役員、土地改良区役員、京都府関係機関、農業者、集落組織代表者、学識経験者等	農業推進課

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課
南丹市老人ホーム入所判定委員会	老人福祉法第11条に規定する措置の要否判定を行います。	7人 〔9人以内〕	専門性を有するため公募は行わない。	引き続き専門性を有する者での組織化が必要である。	医師、養護老人ホーム施設、特別養護老人ホーム施設、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、地域包括支援センター等	高齢福祉課
南丹市野生鳥獣対策運営協議会	南丹市における有害鳥獣の捕獲体制を確立し、円滑かつ適正な有害鳥獣捕獲活動を推進していきます。	20人 〔20人以内〕	委員を選任する際に専門知識を有する団体・個人を選んでいるため	専門知識を有する団体・個人を専任しており、公募は考えていない。	南丹市猟友会、京都府南丹広域振興局農林商工部等行政職員、管内に所在の森林組合、農業団体、市議会議員、京都府緑の指導員、農業委員会委員、管内に所在の漁業協同組合	農山村振興課
南丹市の森林を考える会	市民共有の環境財産である森林を適切に管理し、住民が参画することで幅広い意見を反映させた森林づくりを目指していきます。	17人 〔20人以内〕	委員を選任する際に専門知識を有する団体・個人を選んでいるため	専門知識を有する団体・個人を専任しており、公募は考えていない。	森林組合の役職員及び林業関係団体の代表者、林業従事者及び山林所有者、京都府関係機関等の行政職員	農山村振興課
南丹市上下水道事業審議会	上下水道事業の円滑な推進と健全な運営について審議します。	8人 〔会長、副会長及び委員若干人〕	委員を選任する際に専門知識を有する団体・個人を選んでいるため	専門知識を有する団体・個人を専任しており、公募は考えていない。	市議会議員若干人、団体役員その他学識経験者	上水道課・下水道課
南丹市文化財保護審議会	教育委員会の諮問に応じ、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、これらの事項に関して教育委員会に建議します。	13人 〔15人以内〕	専門性が必要なため。	引き続き専門性を有する者での組織化が必要	委員及び専門委員は、学識経験のある者及び文化財に関し識見の高い者の中から教育委員会が委嘱します。	社会教育課
南丹市伝統的建造物群保存地区保存審議会	教育委員会の諮問に応じ、保存地区の保存等に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項について教育委員会に建議します。	6人 〔15人以内〕	専門性が必要なため。	引き続き専門性を有する者での組織化が必要	学識経験者、関係行政機関の職員、関係地域を代表する者等のうちから、教育委員会が委嘱します。	社会教育課

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課
南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業 計画策定委員会	高齢社会の課題に対処し、連携のとれた保健・福祉サービスの提供体制の確立を図ること及び介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画を定めます。	14人 〔20人以内〕	専門的な方、事業所や医療・福祉関係団体等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。	受益者＝65歳以上高齢者となるが、市民として、現状では団体の代表に参加していただいているので、公募は考えていない。	保健、医療及び福祉関係者、介護保険事業関係者、学識経験者等	高齢福祉課
南丹市行政不服審査会	行政不服審査法に基づく審査請求に対する裁決の妥当性などについて審査を行います。	5人 (5人以内)	審議内容が審査請求に関する調査、審議であり、専門的な知識経験を有する方に依頼をしているため。	審査請求を扱う審査会のため、受益者等を公募する選定方法は、馴染まない。	知識経験を有する者	総務課
南丹市放課後児童健全育成事業運営委員会	放課後児童健全育成事業の円滑な運営を図るため、児童クラブの運営について審議します。	12人 〔15人以内〕	委員を選任する際に関係団体・個人を選任しているため。	当事者として、保護者選出委員が4名含まれる。	議会、学校、保護者、主任児童委員、社会教育委員等の代表のうちから、教育委員会が委嘱します。	社会教育課
南丹市健康増進・食育推進計画策定委員会	市民の健康増進と食育推進を一体的に推進するために取り組みに関する計画策定について、検討頂くことを目的に開催します。	15人 〔15人以内〕	専門的な方、医療関係・市内の関係団体等、参加いただきたい関係機関に選出いただくため。	公募の採用を検討したが、専門知識を有する団体・個人を選任ため、公募は行わない。 ※R3年度から市民公募を行っている審議会から専門性を有するなどの理由で公募を行っていない審議会等へ移動	学識経験者、医療関係者、市内の各種団体関係者、行政・教育関係者、その他市長が必要と認める者	保健医療課
南丹市地域福祉計画推進委員会	南丹市地域福祉計画の推進を図るため、進捗状況の把握に関すること、方策の検討、見直しに関することを協議し地域福祉を推進します。	20人 〔30人以内〕	専門的な方、地域福祉活動団体代表者等、参加いただきたい関係機関に推薦依頼し、選出いただいているため。	専門知識を有する団体・地域福祉に関する市民組織から選出いただいております。公募は考えていない。	学識経験者、市民組織代表者、社会福祉関係者、警察消防関係者、行政関係者等	福祉相談課

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課
南丹市権利擁護・成年後見センター運営委員会	南丹市の成年後見制度の利用促進及び適切な事業運営を確保するため、センター運営に関すること及び市の成年後見制度の利用促進に関することを協議し助言を行います。	6人 〔10人以内〕	専門性を有する協議であり公募は行わない	専門職団体及び専門知識を有する団体から選出いただいております、公募は考えていません。	弁護士、司法書士、社会福祉士、学識経験者	福祉相談課
南丹市いじめ防止等対策委員会	いじめの防止等のための対策について調査審議し、及び教育委員会の諮問に応じ意見を答申、法第28条第1項の規定による調査を行います。	5人 (10人以内)	専門性が必要なため。	個人情報扱う調査審議を行うため、公募は行わない。	法律、教育、心理等必要な専門知識を有する者、その他教育委員会が必要と認める者	学校教育課
南丹市プロポーザル審査委員会	プロポーザル方式により業務等を受託する事業者の候補者を選定するため、選定を行う契約案件ごとに審査委員会を設置し、審査を行います。	6人 (8人以内)	審査内容に関する専門的な知識経験を有する方に依頼する必要があるため。	専門知識を有する個人を専任する必要があるため、公募は考えていません。	学識経験を有する者、市職員、その他市長等が必要と認める者	総務課
南丹市指定管理者選定評価委員会	指定管理者の候補者選定等について、諮問を受け調査審議し、答申をします。	7人 (8人以内)	専門的な知識経験を有する方に依頼する必要があるため。	専門知識を有する個人を専任する必要があるため、公募は考えていません。	学識経験を有する者、市職員、その他市長が必要と認める者	総務課

(4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座

市長はじめ理事者や市職員が地域に出向き、まちづくりの方針や施策の方針を市民に伝えるとともに、市民の声を直接聞きます。

計画				実績			担当課
名称	概要	実施時期	意見交換等の手法 申込み方法	実施日	実績 (参加人数等)	備考	
市政懇談会	市長、副市長、教育長、各部長が地域に出向き、市のまちづくりの方針や施策の方針等について、市民に伝えるとともに、市民の意見を直接聞きます。	開催時期等については調整を行い、お知らせなんたんなどで告知します。	意見交換…懇談会開催時に行います。申込みは不要です。	(開催予定) 令和5年2月 7日 令和5年2月10日 令和5年2月14日 令和5年2月17日	(参加人数予定) 12人 10人 10人 10人	まちづくり協働員との懇談	秘書広報課
出前講座	市民に、市政に関心を持っていただき、地域づくりに役立てていただくため、希望される地域に市職員が講師として出向き事業や施設等について説明します。	年中（各講座の開講日程は申込者との調整により決定します。）	市内在住・在勤・在学のおおむね10人以上の団体の集まりを基本とします。希望日の3週間前までに申込書を提出いただきます。詳細は秘書広報課（0771-68-0065）にお問い合わせください。	-	-	申し込みがなかったことによる	秘書広報課

説明会・出前講座

	No.	講座名	主な内容	担当課
総務	1	地域防災対策	南丹市地域防災計画と災害に対する日ごろの構え、災害時の行動などについて説明	危機管理対策室
	2	南丹市交通安全計画	南丹市交通安全計画について説明	
	3	公共施設の再編について	公共施設等総合管理計画、公共施設再配置計画について説明	総務課
	4	市税のあらまし	市税の概要と仕組みについて説明	税務課
地域振興	5	南丹市総合振興計画等	南丹市総合振興計画等の内容について説明	企画財政課
	6	南丹市の定住促進	南丹市が行う定住促進について説明	地域振興課
	7	南丹市の景観まちづくり	南丹市の優れた景観を守るための南丹市景観計画の説明とそれに係る届け出制度について説明	
	8	認可地縁団体制度のあらまし	認可地縁団体の設立から運営方法について説明	
	9	南丹市の公共交通の現状	JR複線化やバス交通について説明	
	10	市民協働のまちづくり	市民と行政の協働によるまちづくりについて説明	
11	南丹市の地域情報化	高度情報通信基盤を活用した行政サービス、まちづくりなどについて説明	情報課	
市民	12	南丹市環境基本計画	南丹市環境基本計画の内容について説明	市民課
	13	ごみの分別・排出方法とごみ処理の現状	ごみの分別・排出方法と目的及びその効果、また市のごみ処理方法・処理量などについて説明	
	14	医療制度のあらまし	国民健康保険や後期高齢者医療制度の内容について説明	
	15	人権感覚の豊かな社会を構築するために	南丹市人権教育・啓発推進計画に基づき、市が実施する人権啓発の取り組みや基本的な考え方などについて説明	人権政策課
	16	男女共同参画社会の実現に向けて	南丹市男女共同参画推進条例、南丹市男女共同参画行動計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向けての市の取り組みなどについて説明	

	No.	講座名	主な内容	担当課
福祉保健	17	南丹市の健康推進事業	生活習慣病予防（メタボリックシンドロームなどの生活習慣病とその予防）について説明	保健医療課
	18	南丹市の母子保健事業	子どもの発育・発達や育児、離乳食、予防接種について説明	
	19	南丹市の障がい者福祉	南丹市障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画や障がい者福祉施策及び事業内容について説明	社会福祉課
	20	成年後見制度について	成年後見制度についての説明	福祉相談課
	21	南丹市の高齢者福祉	南丹市高齢者福祉計画・介護保険事業計画や高齢者福祉施策及び事業内容について説明	高齢福祉課
	22	南丹市の子育て支援	子育て支援施策及び事業内容について、南丹市子ども・子育て支援事業計画について、要保護児童対策の現状と児童虐待防止の啓発について	子育て支援課
農林商工	23	農業振興支援	農業振興に対する支援施策について説明	農業推進課
	24	林業施設の整備、林業振興対策	林業施設の整備及び林業振興に対する支援施策についての説明	農山村振興課
	25	南丹市の観光	南丹市における観光振興について説明	観光交流室
	26	南丹市の商工振興	南丹市の商工振興について説明	商工課
	27	消費生活相談	消費生活関連の説明	
土木建築	28	南丹市の都市計画	南丹市における都市計画の現状と今後について説明	都市計画課
	29	道路と河川の維持管理	南丹市における道路と河川の維持管理の現状について説明	道路河川課
	30	道路と河川事業	道路および河川事業について説明	
	31	南丹市の公営住宅	南丹市における公営住宅の現状について説明	営繕課
水道	32	南丹市の上水道	南丹市における上水道の現状と今後について説明	上水道課
	33	南丹市の下水道	南丹市における下水道の現状と今後について説明	下水道課

	No.	講座名	主な内容	担当課
教育	34	南丹市の幼稚園、小・中学教育	南丹市における幼稚園から小中学までの学校教育の現状について説明	学校教育課
	35	南丹市の歴史と文化	南丹市の歴史について説明	社会教育課

(5) アンケート

計画						実績			担当課
事業名	実施目的 (活用方法)	アンケートの 調査方法・実施方法	本計画期間における予定	アンケートの 対象者(人数)	結果の公開可否	実施時期(月)	実績 (回答数等)	備考 (結果の掲載場 所)	
市民意識調査	南丹市総合振興計画の進捗管理のため、市民が日頃感じていることや市民ニーズ等を把握し、その結果を今後の計画策定の基礎資料として活用する。	無作為抽出、調査票を郵送、回答はオンラインを併用	毎年度 7～9月頃	2,500人	可	R4年11月10日 ～ R4年11月30日	集計中	ホームページ	企画財政課
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	南丹市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定にあたり、市内高齢者などの生活実態や健康状態等を把握し、令和5年度から8年度までを計画期間とする計画策定の基礎資料として活用する。	要介護認定(要介護1～5)を受けていない65歳以上の高齢者及び要支援1・2の認定を受けている65歳以上の高齢者及び事業対象者より無作為抽出、郵送	3年に1回 9月～12月頃	3,000人	可	R4年12月8日 ～ R4年12月27日	回答:1,829件		高齢福祉課
在宅介護実態調査		在宅の要介護認定者(要介護1～5)より無作為抽出、郵送	3年に1回 9月～12月頃	1,000人	可	R4年12月8日 ～ R4年12月27日	回答:375件		高齢福祉課

(6) 共同研究

大学等の学生の受け入れや、大学や企業との連携を積極的に推進し、学生の政策形成能力を養成するとともに、地域における協働を推進し専門的分野から地域課題の解決を促します。

計画				実績			担当課
名称	概要	本計画期間における予定	調査結果を反映させる事業	実施時期	実績 (実施内容等)	備考	
南丹市内の高等教育機関ならびに連携協力包括協定締結大学との共同研究	明治国際医療大学、京都府立大学、佛教大学との連携を進めます。	随時	各課の事業に反映	令和5年3月9日 (実施予定)			地域振興課
インターンシップ実習生の受入	市役所における総合的就業体験を通じて学生の政策形成能力を養います。	有	学生の希望等に応じて決定	R4年8月9日～ 8月26日	今年度は情報化に関する行政業務を中心に、実務を通して理解を深められるよう体験の場を提供した。		人事課

(7) 市民との協定

市民と行政の協定により、新たなまちづくりの仕組みづくりや施策等の実施を積極的に進めます。

計画				実績		担当課
名称	概要	提案募集の時期（予定）	対象者（地域）	実績 （締結件数等）	備考	
景観協定	地域で特徴的な景観についての協定を地域住民等で結び、市が認定します。	随時	景観計画区域（美山管内）	0件		地域振興課

(8) その他の市民参加手続きの実施

その他市民の意見を市政に反映するための取組みを実施します。(例：陳情、ご意見箱など)

計画				実績			担当課
名称	概要	本計画期間における予定	要望等の対応方法	実施時期	実績 (実施回数、受付件数等)	備考	
子育て支援関係団体意見交流会	南丹市内に拠点を置いて活動されている子育て支援に関する団体や子育て支援拠点事業に関わりのある団体等が集い、各団体の活動に理解を深めると共に、市内の子育ての環境や課題について共有します。	毎年2月頃	課題を検証し、対応します。	R4年12月17日	1回実施	南丹市子育てサークル交流事業として親子向けのイベントを協働で開催した。	子育て支援課
子育て広場での意見箱設置	子育て広場の利用しやすい運営を目指し意見箱を設置します。	年間 R4年4月1日～ R5年3月31日	課題を検証し、対応します。	R4年4月1日～ R5年3月31日	ご意見なし		子育て支援課
南丹市政へのご意見箱	ホームページ及び本庁と各支所の窓口にて「南丹市政へのご意見箱」を開設・設置し、意見や提言等を募集します。	随時	投稿された方が匿名、連絡先無記入などの場合を除き、できる限り個別に回答します。 また、寄せられたご意見・ご提言の中から、より多くの市民の皆さんと情報共有すべきと思われるものについては、ホームページ上の「南丹市政へのご意見箱」に随時掲載します。ただし、内容によっては回答及び公開を控えさせて頂く場合もあります。	R4年4月1日～ R4年12月31日	281件受付		秘書広報課

第3章 協働

市民と行政がそれぞれの役割を自覚し、対等かつ自由な立場で互いを尊重し、役割分担及び補完しあいながら公共的課題の解決に当たることです。

Partnership

市民のみなさんの価値観やライフスタイルの多様化に伴い、市民のまちづくりに対するニーズもますます高度化・多様化しており、行政が現在のシステムでこれら全てに答えていくことは困難な状況となっています。だれもが安全安心で快適に暮らせる魅力あるまちを実現するためには、行政主導型のまちづくりではなく、市民や企業、行政がともに自分たちの役割を理解し合い、それぞれの弱みを、それぞれの強みで補いながら、さまざまなニーズに対応する必要がある、それを実現する仕組みが「市民協働」です。

普段の生活で意識せずに行っていることも多く、今後もそれぞれができることを取り組むことで、まちが元気になる仕組みづくりを進めます。

1. 協働の形態

公共の課題の解決のため、委託、支援等の協働における多様な形態のうち、適切かつ効果的であると認められるものを実施するよう努めるものとします。

- (1) 事業の委託
- (2) 協働（共催）
- (3) 協働（事業協力）
- (4) 協働（支援・補助）

(1) 事業の委託

市が実施責任を負う事業を民間の団体などに実施いただくものです。その事業が効果的に実施できるよう内容によって地域や市民団体等へ委託します。
(現在実施している、若しくは今後実施予定の委託事業)

計画				実績			担当課
事業名	事業の概要	事業を委託する団体の条件など	本計画期間における募集時期(予定)	実施時期	実績 (委託先名称等)	備考	
南丹市交通指導員会運営事業	市の有償ボランティアである交通指導員に委嘱された市民が、通学時の交通指導にあたります。	交通安全活動に対する意欲知識のある市民	3月	R4年4月1日 ～ R5年3月31日	35人		危機管理対策室
ものづくりのまち推進業務	さまざまな分野で活躍する個々の工芸家が相互交流し、連携することにより魅力を引出し、情報発信をすることのできる体制をつくります。	伝統工芸や工業製品の振興を支援し新たな特産品をつくることのできる団体	4月	R3年5月27日 ～ R4年3月24日	南丹市工芸家協会		地域振興課
南丹市国際交流推進事業	市民レベルでの国際交流を活発化させ、外国人住民が安心して暮らせる多文化共生社会の実現を推進します。	外国文化との交流を推進するノウハウを持つ団体	4月	R4年4月1日 ～ R5年3月31日	南丹市国際交流協会		地域振興課
まちづくりデザインセンター業務委託	まちづくり活動を推進するため、その拠点として「南丹市まちづくりデザインセンター」を設置し、市民活動を推進します。	まちづくりデザインセンターの業務を担えるNPO法人	4月	R4年4月1日 ～ R5年3月31日	NPO法人テダス		地域振興課
ひとり親家庭生活支援事業	ひとり親家庭への育児や健康、必要な手続き等について講習会等を開催し、支援と対象者の情報交換の場とします。	ひとり親家庭と日常つながりのある団体	6月	R4年12月4日	参加者40人 (委託先：母子寡婦福祉会)		子育て支援課

計画				実績			担当課
事業名	事業の概要	事業を委託する団体の条件など	本計画期間における募集時期(予定)	実施時期	実績 (委託先名称等)	備考	
子育てつどいの広場開設運営業務	親子の交流や相談に応じる地域子育て支援拠点事業を民間委託により実施します。	子育て支援に関わるNPO法人	4月	R4年4月1日 ～ R5年3月31日	NPO法人グローアップ		子育て支援課
利用者支援事業	子育て家庭のニーズに合わせ、幼稚園・保育所の施設や地域の子育て支援などから必要な支援を選択して利用できるよう、情報提供、相談・援助を行うとともに、関係機関との連絡調整を行います。	子育てすこやかセンター内 子育て支援に関わるNPO法人	4月	R4年4月1日 ～ R5年3月31日	NPO法人グローアップ		子育て支援課
産前・産後サポート事業	妊娠届出時に申し込みを受け付け、マタニティ訪問を行い、妊産婦やその家族が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩みについて、保健師や助産師、看護師等の専門家、子育て経験者及びシニア世代等による相談支援を行います。また、支援が必要な家庭に訪問支援サービスを行うことにより、家事支援、育児支援を行います。	子育て支援に関わるNPO法人	4月	R4年4月1日 ～ R5年3月31日	NPO法人グローアップ		子育て支援課 保健医療課
京都府管理河川環境整備作業委託	南丹市内の府管理河川（一級河川及び二級河川）の環境維持の作業を行います。	自治会を母体とする団体	5月	R4年4月1日 ～ R5年3月10日	64件		道路河川課
婚活支援事業委託	結婚・出産・子育ての基となる出会いを創出し、再婚なども含めた婚活を支援します。	婚活事業を実施するノウハウを持つ団体	4月	R4年5月13日 ～ R5年3月17日	NPO法人テダス		子育て支援課
学生交流プロジェクト	地域・大学・学生が直接つながる機会を提供し、地域での大学や学生との連携を促進します。	学生と地域の交流を促し、企画の立案まで導くプログラムの調整ができる団体	4月	団体募集：R4年7月22日～ R4年8月26日 学生募集：R4年10月11日～ R4年11月18日	NPO法人テダス 協力団体：園部文化観光協会 くらす		地域振興課

(2) 協働（共催）

市民と市が共に主催者（事業主体）となって事業を実施するもので、南丹市が参画する実行委員会等の組織で事業を実施するものです。
（現時点での共催事業及び今後実施予定の共催事業）

計画				実績			担当課
事業名	事業の概要	共催する相手	本計画期間における予定	実施時期	実績 （実施内容・参加人数等）	備考	
男女共同参画事業『キラリなんたん』	男女共同参画の視点で市民対象の啓発事業を実施します。	南丹市女性ネットワーク会議	男女共同参画週間 R4年6月23日から29日まで	R4年7月16日	映画上映会を実施 参加人数：127人		人権政策課
人権講演会やフォーラム	人権に関する市民啓発事業を実施します。	南丹市人権教育・啓発推進協議会	人権強調月間（8月）人権講演会 人権週間（12月）人権フォーラム	①R4年9月3日 ②R4年12月3日	① 講演会を実施 参加人数：95人 ② 講演会を実施 参加人数：30人		人権政策課
美山サイクルロード	南丹市美山支所前をスタート・ゴールに、国内では珍しい公道を使用した自転車レースとなっている。例年約700名がエントリーし、各団体の協力のもと事業を実施します。	南丹市内（美山）各種団体・京都府自転車競技連盟	令和4年5月28日・29日	R4年5月28日・29日	第35回京都美山サイクルロードレース2022を実施 参加人数：0人		市民協働室
京都丹波トライアスロン大会	京都府内で唯一となるトライアスロンの全国大会を、八木地域を会場に開催します。	京都府トライアスロン連盟、京都府、クアスポくちだん	令和4年8月7日	R4年8月7日	第8回京都丹波トライアスロン大会in南丹を実施 参加人数：0人		市民協働室
美山ふるさと祭	南丹市美山支所及び文化ホール周辺を会場に、例年11月3日に開催。美山町一大イベントと位置付け、農林産物品評会・各種展示即売会・ステージショーなど各種団体と協力して事業を実施します。	南丹市内（美山）各種団体	未定	中止		新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は実施していない	市民協働室
なんたん健康ポイント	健診の受診と生活習慣の改善、特に歩く習慣を作り、自主的な健康づくり等を推進するため、これらの活動を行ったものに対し、特典を交付し、南丹市在住・在勤の方が生涯にわたって健康的に過ごすためきっかけづくりを行います。	市民の健康づくりと一緒に推進し、応援頂ける企業や商店（賞品等を提供頂き、市民の健康づくりを応援していただける企業、商店）	翌年度分を当年度の1月までに募集	R5年2月	抽選会を実施 参加人数：0人		保健医療課

計画				実績			担当課
事業名	事業の概要	共催する相手	本計画期間における予定	実施時期	実績 (実施内容・参加人数等)	備考	
美山かやぶきの里ワンデーマーチ	かやぶきの里・美山を舞台にワンデーマーチを開催し、南丹市外から参加をされる人々とのふれあいや豊かな自然を体験し、心身の健康づくりを図ります。	南丹市内（美山）各種団体	未定	中止		新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は実施していない	市民協働室
ひよし水の杜フェスタ	スプリングスパークを会場に、例年10月に開催します。	南丹市内（日吉）各種団体	未定	中止		新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は実施していない	市民協働室

(3) 協働（事業協力）

市民と市が相互の役割を定め、協力して事業を実施するものです。
 （現時点での事業協力及び今後実施予定の事業協力）

計画				実績			担当課
事業名	事業の概要	役割分担など	本計画期間における予定	実施時期	実績 （実施内容・参加人数等）	備考	
交通安全活動	南丹船井交通安全協会南丹支部とともに、啓発活動を実施します。	市民 運営委員は各活動を自ら実施 行政 事務局として庶務を行うほか、各活動に参加	通年	通年	交通安全運動期間中の啓発のぼり旗の掲出 参加人数：195人 交通安全運動期間中の広報パレードの実施 参加人数：5人		危機管理対策室
南丹市子育てすこやかセンター事業	主に保育所や幼稚園に在籍するまでの親子の居場所と相談の場を提供します。お話しなどの行事についてボランティア団体の協力を得て開催します。	市民 ボランティア団体が内容を企画し実施 行政 子育てすこやかセンターが行事枠を確保	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	R4年4月1日～ R5年3月31日	計5回のお話しを実施 参加人数：延べ91人		子育て支援課
ふるさと道路・河川愛護活動	南丹市が管理する生活に密着した道路や河川を市民のみなさまと一緒に、大切に維持保全することで、その安全性や郷土愛を高め、美しい魅力あふれるまちの実現と公共施設としてのマナー向上に取り組みます。	市民 ごみ拾い、除草、花の植栽、樹木の選定、不備や危険個所の情報提供 行政 不備や危険を解消するための維持修繕	通年	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	除草・清掃作業を実施 登録団体：32団体 R4.12.31現在		道路河川課
障害者相談員設置事業	地域の実情に精通した市民を相談員として、障がいのある方や家族の目線に立った相談支援を行い、行政や専門機関とのパイプ役として活動していただきます。	市民 身近な地域で障がいのある方からの相談対応、旧町単位で月1回のなんでも相談日の開催など 行政 相談員が受けた相談のうち専門的支援が必要な場合の対応、活動内容の周知、相談員への研修、謝礼・保険料の支出など	旧町単位で月1回のなんでも相談日の開催する	R4年4月1日 ～ R5年3月31日	旧町単位で月1回のなんでも相談日を実施		社会福祉課

(4) 協働（支援・補助）

市民が自発的・自主的に行う公共的な事業に対し、市が財政的支援や物的支援などを行うものです。

財政的支援 このほかにもさまざまな団体による支援情報などがありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

計画					実績			連絡先	担当課
事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	本計画期間における予定	実施時期	実績 (申請件数等)	備考		
南丹市まちづくり活動交付金	市民団体等が提案する公共性及び公益性の高い新たなまちづくり活動に要する経費を補助します。	1年目 上限20万円・3/4 2年目 上限15万円・2/3 3年目 上限10万円・1/2	申請書をご提出ください。	令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	交付決定：11件 申請件数：13件		0771-68-0019	地域振興課
南丹市学校提案型まちづくり活動交付金	京都府下の大学・大学院・短期大学・選手学校が提案する公共性及び公益性の高い新たなまちづくり活動に要する経費を補助します。	上限20万円 交付率は他の補助金の活用状況により異なります。 市補助金のみ：10/10 府補助金併用：1/3	申請書をご提出ください。	令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	交付決定：4件 申請件数：4件		0771-68-0019	地域振興課
南丹市学生提案型まちづくり活動交付金	学生団体が、地域団体と連携・協働して南丹市内で実施する地域貢献活動に要する経費を補助します。 ※学生団体：高等学校、大学、大学院、専門職大学、短期大学、専門職短期大学、高等専門学校、専修学校に所属する学生により構成された団体	上限10万円	申請書をご提出ください。	令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	令和4年4月1日 ～ 令和4年6月30日	交付決定：1件 申請件数：1件	令和4年度に制度を新設	0771-68-0019	地域振興課
南丹船井交通安全協会南丹支部活動補助金	組織運営に対して、定額補助を行います。南丹船井交通安全協会南丹支部と連携する啓発活動により交通死亡事故の減少を図ります。	300千円/年	申請団体は南丹船井交通安全協会南丹支部に限ります。	年度当初募集	R3年4月1日 ～ R4年3月31日	1件		0771-68-0021	危機管理対策室
南丹船井地域交通安全活動推進協議会活動補助金	組織運営に対して、定額補助を行います。南丹船井地域交通安全活動推進協議会と連携する啓発活動により交通死亡事故の減少を図ります。	40千円/年	申請団体は南丹船井地域交通安全活動推進協議会に限ります。	年度当初募集	R3年4月1日 ～ R4年3月31日	1件		0771-68-0021	危機管理対策室
自主防災組織育成事業	地域の自主的な防災活動に対して補助します。	各団体の防災事業に対して補助を行います。	まずはお問い合わせください。	年度中募集 (年度内完了要)	R3年4月1日 ～ R4年3月31日	4件		0771-68-0021	危機管理対策室

計画					実績			連絡先	担当課
事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	本計画期間における予定	実施時期	実績 (申請件数等)	備考		
南丹市管理道路・河川等清掃補助金交付	市民により組織された清掃ボランティア団体が行う、市管理の道路・河川及び公園の清掃活動に必要な保険料掛金や草刈機の燃料代等の全部又は一部を支援します。	1実施団体2万5千円を上限に、清掃活動参加者1名当たり年額500円を基本とします。	当該補助金交付要綱によります。	随時募集	令和4年4月1日 ～ 令和5年3月31日	27件		0771-68-0051	道路河川課
空き家掘り起こし事業	区などが空き家の所有者などに空き家バンクへの登録を働きかけることにより、その所有者などが登録に同意され、空き家バンクに新規登録された場合に報奨金を支給します。また、その空き家が新規活用された場合、上乗せして報償金を支給します。	空き家バンク登録 1物件につき3万円支給 空き家新規活用 1物件につき2万円を上乗せして支給	まずはお問い合わせください。	随時募集	随時募集	登録6件 活用6件 ※12月末現在		0771-68-0019	地域振興課
空き家掃除お助け事業	空き家バンクに登録された空き家や新規活用が見込まれる空き家について、区などがその所有者などの同意を得た上で、地域ぐるみで家財道具の撤去作業などを行う場合、区などに対して、廃棄物処分費のうちバケツ代を補助します。	1物件につき20万円を上限に補助	まずはお問い合わせください。	随時募集	随時募集	3件 ※12月末現在		0771-68-0019	地域振興課
南丹市資源ごみ集団回収事業	家庭生活のなかから排出される資源ごみ(古布、新聞紙、雑誌、チラシ、ダンボール)の集団回収を自主的に実施する地域住民により構成された団体に対し、回収量に応じた報奨金を交付します。	(5円〔kg当たりの単価〕－業者買上単価〔kg当たり〕)×回収量(kg)＝報奨金	5/31までに団体登録申請いただいた団体が対象となります。実施月ごとに、計量証明書、納品書など、業者の【買上単価】および【回収量】のわかる書類を添付し、交付申請ください。	毎年度実施	R4年4月1日 ～ R5年2月28日	166件		0771-68-0085	環境課

モノ支援 このほかにも多くの備品が貸し出せる場合がありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

計画					実績			連絡先	担当課
事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	本計画期間における予定	実施時期	実績 (申請件数等)	備考		
まちづくり活動に必要な機材、備品、書籍の貸出、名刺作成	南丹市まちづくりデザインセンターに登録（登録料年間1,000円）した団体に無料または有料で貸し出します。	コピー機、輪転機、ラミネーター、FAX、プロジェクター、ビデオカメラ、デジタルカメラ、ボイスレコーダー、三脚、フロアマット、鬼の衣装、ガチャガチャ機、書籍等の貸出、展示ブース、会議スペースの貸出、名刺作成	南丹市まちづくりデザインセンターにお申し込みください。	随時受付	随時受付	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体51団体 支援を受けることを目的に、延べ643人が来館。それら市民に対し、備品や書籍等の貸出しを行った。 展示ブース利用8団体 会議スペースの利用2件 名刺作成：14人 	※R4.12月末時点	0771-68-3555	まちづくりデザインセンター
ひとものカタログ	市内の各団体が貸し出せるひと・もの等の情報をとりまとめました。（令和元年度時点）	ひと・もの	カタログを参考ください カタログは、地域振興課・まちづくりデザインセンターで配布しているほか、市HPにも掲載しています。	随時追加受付 随時カタログ配布	随時追加受付 随時カタログ配布	<ul style="list-style-type: none"> 受付0件 配布約250件（予定） 	今年度カタログの更新予定なし	(市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555	地域振興課 まちづくりデザインセンター

ヒト・ノウハウ支援 このほかにも多くの情報等を提供できる場合がありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

計画					実績			連絡先	担当課
事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	本計画期間における予定	実施時期	実績 (申請件数等)	備考		
食育推進事業	食の情報提供などを通して、広く市民に食育推進を図ります。	専門職(栄養士)の協力、レシピ等の教材を提供、貸し出します。	随時連絡	随時受付	R4年4月1日 ～ R5年3月31日	393件応募 10件入選		0771-68-0016	保健医療課
集落の教科書づくりの推進	集落がI・Uターン者などを迎えるに当たって、地域独自の情報発信を行うツールとして、地域のルールや集落の基本的事項をまとめた冊子の作成を推奨します。	教科書づくりを支援し、空き家バンクとの連動や情報発信などを行います。	随時連絡	随時受付	随時受付	0件 ※12月末現在		0771-68-0019	地域振興課

第4章 仕組み

Structure

～協働をすすめる仕組みづくり～

協働を推進するうえでは、お互いが情報を共有し、理解し合い、どのようなまちにしたいかを一緒に話し合う場が必要です。行政が積極的に情報を発信し、市民との意見交換や交流の場を積極的にもち、ひと・もの・コトをつなぐ仕組みづくりを積極的に進めます。

1. 協働をすすめる仕組み

- (1) 情報を積極的に発信します。
- (2) 意見交換の場や交流の仕組みをつくります。
- (3) まちづくりデザインセンターを中心とした、ひと・もの・コトをつなぐ仕組みをつくります。

(1) 情報の積極的な発信

行政には情報が集まりやすいという特性があり、個人情報等を除き、これらを積極的に市民に提供することは協働の推進にとって大変有意義です。さまざまな冊子やニュースなどができる限り可視化し、市民に積極的な情報提供を図る仕組みをつくります。

計画			実績		連絡先	担当課
事業名	事業の概要	本計画期間における予定	実施時期	備考		
情報誌等閲覧促進事業	行政に送付される様々な情報誌などで、市民に有益な情報をまちづくりデザインセンターなどに集約し提供します。	随時			0771-68-0019	地域振興課
障がい者福祉のあんない版	障がいのある方に関する制度をわかりやすく周知するための冊子を、窓口案内や相談業務に活用したり市のホームページに掲載しています。	毎年度更新	R4.7		0771-68-0007	社会福祉課
当事者団体加入のすすめ	同じ悩みを持つ人同志がわかちあい学びあい支えあうことで、日々の暮らしを充実させるため、当事者団体への加入をすすめる冊子を、窓口案内や相談業務に活用したり市のホームページに掲載しています。	毎年度更新	R4.7		0771-68-0007	社会福祉課
nancla（なんくら）ホームページ	定住促進情報を集約し発信しています。	通年	通年		0771-68-0019	地域振興課
定住促進ガイドブック「なんくら」	定住促進を図るツールのひとつとして、南丹市や関係機関が実施する各種施策などの情報を掲載するガイドブックを作成します。	毎年度更新	毎年度更新		0771-68-0019	地域振興課

(2) 意見交換の場や交流の仕組み

協働を推進するうえではお互いを信頼しあい、対等な立場でアイデアなどが出し合える環境が必要です。まちづくりについて気軽に交流できる場づくりを行います。

計画			実績			連絡先	担当課
事業名	事業の概要	本計画期間における予定	実施時期	実績 (実施件数等)	備考		
市民活動団体交流事業	市内で活動するNPO法人や市民団体、企業など、まちづくりに関わる様々な主体が集まり、ワークショップ形式で意見交換を行います。	1回程度	R5年3月8日（予定）	参加見込み数：23人	※R4.12月末時点	(市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555	地域振興課 まちづくりデザインセンター

(3) ひと・もの・コトをつなぐ仕組み

市民活動においては、行政からの情報だけでなく、団体同士、団体に必要なものやコトなどをつなぐための中間支援的役割が必要です。南丹市まちづくりデザインセンターが中心となり、それらのコーディネーターや資金面でのアドバイスを行います。

計画			実績			連絡先	担当
事業名	事業の概要	本計画期間における予定	実施時期	実績 (実施件数等)	備考		
相談・紹介事業	まちづくりデザインセンターのコーディネーターにより、様々な団体やひと・もの・コトをつなぎ、より効果的で多面的な事業を推進します。	随時 ※開館時間 水・木・金 10時～18時 土 10時～12時	水・木・金 10時～18時 土 10時～12時	・来館相談270件 ・電話相談103件 計373件	※R4.12月末時点	(市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555	地域振興課 まちづくりデザインセンター
情報収集及び発信事業	まちづくりデザインセンターにより、さまざまな市民活動の情報及び市民活動に役立つ情報を収集し、ホームページやSNS、メール便、配架、掲示、ポスティングなどで市民に共有します。	随時	随時	【発信】 ・ホームページ：随時 ・SNS (Facebook) : 18件 ・メール便：16件 ・配架：随時 ・掲示：随時 ・ポスティング：600枚 【収集】 ・来館者やSNS、新聞・ 図書等から随時情報収集し たほか、活動現場への訪問 ならびにセミナーの受講等 を行った。	※R4.12月末時点	(市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68- 3555	地域振興課 まちづくりデザインセンター

新計画

南丹市市民参加と協働の実施計画 令和5年度～令和7年度

(令和5.2.1現在)

変更部分を赤字にしております。
実施時期の項目は単年度計画に記入してもらうため削除しております。

はじめに

地方公共団体に対し、それぞれの判断力やその責任において、地域実情にあった行政の推進の必要性が求められる昨今の社会情勢の中、市民が主体の魅力あるまちづくりを推進するにあたっては、市民それぞれの豊かな経験や知識を市政に生かし、市民と行政が協力しながら課題解決に取り組むことが必要になります。そして、それらの仕組みは現在、市民参加や協働という言葉で表現され、その実現は自分のまちのことは自分で決め、つくっていくという自治本来の姿の実現につながります。

南丹市では、平成 22 年 4 月 1 日に南丹市市民参加と協働の推進に関する条例を制定し、南丹市における市民参加と協働の定義や行政と市民それぞれの役割を定めました。

行政の役割の一つとしては、市民のみなさんが市政に参加しやすい環境をつくるため多様な市民参加の機会の確保と、市政情報を積極的に提供し市民のみなさんの意見や意向を施策等へ反映させることとしています。

本実施計画は、その役割を遂行するため、南丹市市民参加と協働の推進に関する条例第 11 条の規定に基づき作成するもので、市民参加の機会や協働の視点でみた事業の情報を市民の皆さまにお届けするものです。

目次

ページ番号	タイトル
1	第1章 この実施計画の位置付け 1. 実施計画作成の目的 2. 作成の方法 3. 計画の見直し
2	第2章 市民参加
3	(1) パブリックコメント
4	(2) 市民ワークショップ
5	(3) 審議会、委員会等による調査及び審議
8	(4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座
9	(5) アンケート
10	(6) 共同研究
11	(7) 市民との協定
12	(8) その他の市民参加手続きの実施
13	第3章 協働
14	(1) 事業の委託
15	(2) 協働（共催）
16	(3) 協働（事業協力）
18	(4) 協働（支援・補助）
21	第4章 仕組み
22	(1) 情報の積極的な発信
23	(2) 意見交換の場や交流の仕組み
24	(3) ひと・もの・コトをつなぐ仕組み

第1章 この実施計画の位置付け

1. 実施計画作成の目的

本計画は「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」第11条の規定に基づき、市民が主体の魅力あるまちづくりを実現するため、まちづくりについて市民と行政と一緒に考え話し合う機会づくりや、市民がまちづくりに参画するための情報提供をまとめ公表するものです。

2. 作成の方法

本実施計画は、令和5年度から7年度の3年間を計画期間とし、「市民参加」と「協働」そしてそれらを推進するための「仕組み」の3つの構成により作成することとし、現在、市役所の各所属で実施されている又は今後実施が予定されている施策や事業についての現状と今後の計画等を調査し、それらを取りまとめ作成します。

3. 計画の見直し

本計画の実施状況は、南丹市市民参加と協働の推進に関する条例第12条に定める第三者委員会に報告を行うこととし、市民ニーズや市民参画と協働の推進状況において大きな変化があれば、必要に応じて見直しを行うこととします。

なお、各所属で実施予定の施策や事業については毎年調査を行い更新します。

第2章 市民参加

行政の施策等において、その企画立案から決定に至るまでの過程で市民が主体的にさまざまな意見を述べ、提案することで、市政に対して積極的・自主的に参加し、それらを反映させる仕組みをいいます。

Citizen participation

市の制度や計画のほとんどは行政が主体的にその制定や樹立を行っていますが、市民のみなさんが主体の魅力あるまちを実現するためには、市民のみなさんの意見が市政に反映できる仕組みづくりが必要です。その仕組みである市民参加の実現は、現代社会の多様なニーズに対応し、それぞれが満足感の高い豊かなまちづくりにも繋がります。まずは、市民と行政がそれぞれに力を入れすぎず、構えず、気軽な相談や意見交換ができる環境づくりが必要です。

1. 市民参加の手続

南丹市市民参加と協働の推進に関する条例により市民参加の手続を次に掲げるとおりとし、積極的に推進します。

- (1) パブリックコメント制度の活用を積極的に進めます。
- (2) ワークショップ委員を公募し、計画策定への参画を積極的に進めます。
- (3) 審議会等への市民公募委員の参画を積極的に推進します。
- (4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座を開催します。
- (5) ニーズ把握のためのアンケートを実施します。
- (6) 共同研究を積極的に進めます。
- (7) 市民との協定による新たなまちづくり施策等の実施を積極的に進めます。
- (8) その他市民の意見を市政に反映するための取組みを実施します。

(1) パブリックコメント

施策等の企画立案に当たり、趣旨や目的などを公表し、計画を作成している最中に市民の意見を聞き、計画自体に反映させる手続きです。投稿用紙を市役所（本庁および各支所）窓口を設置するとともに、南丹市のホームページなど様々な広報媒体を活用し意見を求めます。

年度	名称	概要	前計画期間の 実施時期	実施予定時期	意見を提出できる方	ご意見の提出方法	担当課

(2) 市民ワークショップ

行政がさまざまな計画を立案する際に市民のみなさんと一緒に検討するための「ワークショップ」を開催しています。その際、ワークショップ委員を公募し、意見を求めます。

年度	名称	概要	前計画期間の 実施時期	実施予定時期	応募できる方	応募方法	担当課

(3) 審議会、委員会等による調査及び審議

まちをよくするために行政が樹立するさまざまな計画などに市民のみなさんの意見が直接反映できるよう、事業の内容に応じて審議会などの付属機関を設置し、特に専門性を必要とする場合や個人情報を含む場合を除いて、その審議会や委員会を構成する委員の一般公募を推進しています。一般公募している事業等は次のとおりです。
 ※審議会委員などへの参画を希望される方は、南丹市ホームページ審議会・委員会のページもしくはお知らせ版による募集の告知をご覧ください。直接担当課にお問い合わせください。

※特に資格や経験などの専門性を有する審議会や委員会については、一般的な公募を行うことなく条例や要綱の定めにより、関連する団体を通して委員を推薦いただき直接的に就任をお願いする場合があります。

(市民公募を行っている審議会等)

公募する年度	名称	概要	委員数 公募：条例 〔全体：条例〕	公募目標（前期実績）	任期 公募時期	応募資格	公募以外の委員	担当課

(現在公募を行っていないが、公募の導入を検討している審議会等)

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募委員数の目標	選任方法	担当課

(専門性を有するなどの理由で公募を行っていない審議会等)

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課

(4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座

市長はじめ理事者や市職員が地域に出向き、まちづくりの方針や施策の方針を市民に伝えるとともに、市民の声を直接聞きます。

年度	名称	概要	実施予定時期	意見交換等の手法 申込み方法	担当課

説明会・出前講座

分野	No.	講座名	主な内容	担当課

(5) アンケート

年度	事業名	実施目的 (活用方法)	アンケートの調査方法・実施 方法	実施予定時期	アンケートの対象者(人数)	結果の公開可否	担当課

(6) 共同研究

大学等の学生の受け入れや、大学や企業との連携を積極的に推進し、学生の政策形成能力を養成するとともに、地域における協働を推進し専門的分野から地域課題の解決を促します。

年度	名称	概要	実施予定時期	調査結果を反映させる事業	担当課

(7) 市民との協定

市民と行政の協定により、新たなまちづくりの仕組みづくりや施策等の実施を積極的に進めます。

年度	名称	概要	提案募集の実施予定時期	対象者（地域）	担当課

(8) その他の市民参加手続きの実施

その他市民の意見を市政に反映するための取組みを実施します。(例：陳情、ご意見箱など)

年度	名称	概要	実施予定時期	要望等の対応方法	担当課

第3章 協働

市民と行政がそれぞれの役割を自覚し、対等かつ自由な立場で互いを尊重し、役割分担及び補完しあいながら公共的課題の解決に当たることです。

Partnership

市民のみなさんの価値観やライフスタイルの多様化に伴い、市民のまちづくりに対するニーズもますます高度化・多様化しており、行政が現在のシステムでこれら全てに答えていくことは困難な状況となっています。だれもが安全安心で快適に暮らせる魅力あるまちを実現するためには、行政主導型のまちづくりではなく、市民や企業、行政がともに自分たちの役割を理解し合い、それぞれの弱みを、それぞれの強みで補いながら、さまざまなニーズに対応する必要がある、それを実現する仕組みが「市民協働」です。

普段の生活で意識せずに行っていることも多く、今後もそれぞれができることを取り組むことで、まちが元気になる仕組みづくりを進めます。

1. 協働の形態

公共の課題の解決のため、委託、支援等の協働における多様な形態のうち、適切かつ効果的であると認められるものを実施するよう努めるものとします。

- (1) 事業の委託
- (2) 協働（共催）
- (3) 協働（事業協力）
- (4) 協働（支援・補助）

(1) 事業の委託

市が実施責任を負う事業を民間の団体などに実施いただくものです。その事業が効果的に実施できるよう内容によって地域や市民団体等へ委託します。
(現在実施している、若しくは今後実施予定の委託事業)

年度	事業名	事業の概要	事業を委託する団体の条件など	実施予定時期	担当課

(2) 協働（共催）

市民と市が共に主催者（事業主体）となって事業を実施するもので、南丹市が参画する実行委員会等の組織で事業を実施するものです。
（現時点での共催事業及び今後実施予定の共催事業）

年度	事業名	事業の概要	共催する相手	実施予定時期	担当課

(3) 協働（事業協力）

市民と市が相互の役割を定め、協力して事業を実施するものです。
（現時点での事業協力及び今後実施予定の事業協力）

年度	事業名	事業の概要	役割分担など	実施予定時期	担当課

(4) 協働（支援・補助）

市民が自発的・自主的に行う公共的な事業に対し、市が財政的支援や物的支援などを行うものです。

財政的支援 このほかにもさまざまな団体による支援情報などがありますので、担当課お気軽にお問い合わせください。

年度	事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	実施予定時期	連絡先	担当課

モノ支援 このほかにも多くの備品が貸し出せる場合がありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

年度	事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	実施予定時期	連絡先	担当課

ヒト・ノウハウ支援 このほかにも多くの情報等を提供できる場合がありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

年度	事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	実施予定時期	連絡先	担当課

第4章 仕組み

Structure

～協働をすすめる仕組みづくり～

協働を推進するうえでは、お互いが情報を共有し、理解し合い、どのようなまちにしたいかを一緒に話し合う場が必要です。行政が積極的に情報を発信し、市民との意見交換や交流の場を積極的にもち、ひと・もの・コトをつなぐ仕組みづくりを積極的に進めます。

1. 協働をすすめる仕組み

- (1) 情報を積極的に発信します。
- (2) 意見交換の場や交流の仕組みをつくります。
- (3) まちづくりデザインセンターを中心とした、ひと・もの・コトをつなぐ仕組みをつくります。

(1) 情報の積極的な発信

行政には情報が集まりやすいという特性があり、個人情報等を除き、これらを積極的に市民に提供することは協働の推進にとって大変有意義です。さまざまな冊子やニュースなどをできる限り可視化し、市民に積極的な情報提供を図る仕組みをつくります。

年度	事業名	事業の概要	実施予定時期	連絡先	担当課

(2) 意見交換の場や交流の仕組み

協働を推進するうえではお互いを信頼しあい、対等な立場でアイデアなどが出し合える環境が必要です。まちづくりについて気軽に交流できる場づくりを行います。

年度	事業名	事業の概要	実施予定時期	連絡先	担当課

(3) ひと・もの・コトをつなぐ仕組み

市民活動においては、行政からの情報だけでなく、団体同士、団体に必要なものやコトなどをつなぐための中間支援的役割が必要です。南丹市まちづくりデザインセンターが中心となり、それらのコーディネートや資金面でのアドバイスを行います。

年度	事業名	事業の概要	実施予定時期	連絡先	担当

南丹市市民参加と協働の実施計画 令和5年度計画・実績

(令和5.2.1現在)

変更部分を赤字にしております。
評価・コメントの項目を追加しております。

目次

ページ番号	タイトル
1	第1章 この実施計画の位置付け 1. 実施計画作成の目的 2. 作成の方法 3. 計画の見直し
2	第2章 市民参加
3	(1) パブリックコメント
4	(2) 市民ワークショップ
5	(3) 審議会、委員会等による調査及び審議
8	(4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座
10	(5) アンケート
11	(6) 共同研究
12	(7) 市民との協定
13	(8) その他の市民参加手続きの実施
14	第3章 協働
15	(1) 事業の委託
16	(2) 協働（共催）
17	(3) 協働（事業協力）
18	(4) 協働（支援・補助）
21	第4章 仕組み
22	(1) 情報の積極的な発信
23	(2) 意見交換の場や交流の仕組み
24	(3) ひと・もの・コトをつなぐ仕組み

第1章 この実施計画の位置付け

1. 実施計画作成の目的

本計画は「南丹市市民参加と協働の推進に関する条例」第11条の規定に基づき、市民が主体の魅力あるまちづくりを実現するため、まちづくりについて市民と行政と一緒に考え話し合う機会づくりや、市民がまちづくりに参画するための情報提供をまとめ公表するものです。

2. 作成の方法

本実施計画は、令和5年度から7年度の3年間を計画期間とし、「市民参加」と「協働」そしてそれらを推進するための「仕組み」の3つの構成により作成することとし、現在、市役所の各所属で実施されている又は今後実施が予定されている施策や事業についての現状と今後の計画等を調査し、それらを取りまとめ作成します。

3. 計画の見直し

本計画の実施状況は、南丹市市民参加と協働の推進に関する条例第12条に定める第三者委員会に報告を行うこととし、市民ニーズや市民参画と協働の推進状況において大きな変化があれば、必要に応じて見直しを行うこととします。

なお、各所属で実施予定の施策や事業については毎年調査を行い更新します。

※本計画は、令和5年度の計画・実績のみ掲載したものです。

第2章 市民参加

行政の施策等において、その企画立案から決定に至るまでの過程で市民が主体的にさまざまな意見を述べ、提案することで、市政に対して積極的・自主的に参加し、それらを反映させる仕組みをいいます。

Citizen participation

市の制度や計画のほとんどは行政が主体的にその制定や樹立を行っていますが、市民のみなさんが主体の魅力あるまちを実現するためには、市民のみなさんの意見が市政に反映できる仕組みづくりが必要です。その仕組みである市民参加の実現は、現代社会の多様なニーズに対応し、それぞれが満足感の高い豊かなまちづくりにも繋がります。まずは、市民と行政がそれぞれに力を入れすぎず、構えず、気軽な相談や意見交換ができる環境づくりが必要です。

1. 市民参加の手続

南丹市市民参加と協働の推進に関する条例により市民参加の手続を次に掲げるとおりとし、積極的に推進します。

- (1) パブリックコメント制度の活用を積極的に進めます。
- (2) ワークショップ委員を公募し、計画策定への参画を積極的に進めます。
- (3) 審議会等への市民公募委員の参画を積極的に推進します。
- (4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座を開催します。
- (5) ニーズ把握のためのアンケートを実施します。
- (6) 共同研究を積極的に進めます。
- (7) 市民との協定による新たなまちづくり施策等の実施を積極的に進めます。
- (8) その他市民の意見を市政に反映するための取組みを実施します。

(1) パブリックコメント

施策等の企画立案に当たり、趣旨や目的などを公表し、計画を作成している最中に市民の意見を聞き、計画自体に反映させる手続きです。投稿用紙を市役所（本庁および各支所）窓口を設置するとともに、南丹市のホームページなど様々な広報媒体を活用し意見を求めます。

計画						実績			担当課	<p style="text-align: center;">評価・コメント</p> <p style="text-align: center;">(期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p style="text-align: center;">①広報の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他（課題点・良かった点・上手くいった点）</p>
名称	概要	前計画期間の実地時期	実施予定時期	意見を提出できる方	ご意見の提出方法	実施時期	実績	備考		
記入例 南丹市定住促進アクションプラン	本市の定住促進に向けた実効性のある施策などを具体的に示すものです。	H302	R5.2~3	市内に住所を有する方、市内に事務所、事業所を有する個人及び法人その他団体、事務系、事業所に勤務する、学校に在学する、市税の納税義務を有する方	郵便、ファクシミリ、電子メール直接持参	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日	回答〇件		地域振興課	<p>①お知らせなんだんと市HPで広報を行ったが、回答が〇件しか集まらず、次回からはLINEやFBでも広報を行うなど周知に努めたい。</p> <p>②趣旨や目的を具体的に示し、理解してもらえよう周知できた。</p> <p>③募集期間が短かったので計画的に実施したい。</p>

(2) 市民ワークショップ（計画）

行政がさまざまな計画を立案する際に市民のみなさんと一緒に検討するための「ワークショップ」を開催しています。その際、ワークショップ委員を公募し、意見を求めます。

計画						実績			担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対する公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②ワークショップの手法・内容が市民の意見を上手く引き出せるものであったか ③その他（課題点・良かった点・上手くいった点）
名称	概要	前計画期間の実地時期	実施予定時期	応募できる方	応募方法	実施時期	実績 (参加者数等)	備考		
記入例 南丹市地域福祉計画策定事業	第〇期南丹市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にあたり、市民の意見を反映するために、地域福祉ワークショップを開催。	平成〇〇年〇月 (4回開催)	令和〇年〇月 (4回開催)	南丹市在住の方 (年齢要件なし)	郵送・電話・ FAX・直接持参	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日	参加：〇人 〇回開催 第1回〇人参加 第2回〇人参加 第3回〇人参加 第4回〇人参加		社会福祉課 ①お知らせなんだんと市HPで広報を行ったが、応募人数が〇人しか集まらず、次回からはLINEやFBでも広報を行うなど周知に努めたい。 ②ファシリテーターを活用したことで様々な人から意見を引き出すことができた。 ③応募人数が少なかったため、市民の意見をたくさん聞くために実施回数を増やしたい。	

(3) 審議会、委員会等による調査及び審議（計画）

まちをよくするために行政が樹立するさまざまな計画などに市民のみなさんの意見が直接反映できるよう、事業の内容に応じて審議会などの付属機関を設置し、特に専門性を必要とする場合や個人情報を含む場合を除いて、その審議会や委員会を構成する委員の一般公募を推進しています。一般公募している事業等は次のとおりです。

※審議会委員などへの参画を希望される方は、南丹市ホームページ審議会・委員会のページもしくはお知らせ版による募集の告知をご覧ください。直接担当課にお問い合わせください。

※特に資格や経験などの専門性を有する審議会や委員会については、一般的な公募を行うことなく条例や要綱の定めにより、関連する団体を通して委員を推薦いただき直接的に就任をお願いする場合があります。

（市民公募を行っている審議会等）

計画							実績			担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議のみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②何を目的とする審議会なのかをきちんと広報できていたか ③その他（課題点・良かった点・上手くいった点）
名称	概要	委員数 公募：条例 [全体：条例]	公募目標 (前期実績)	任期 公募時期	応募資格	公募以外の委員	公募期間	公募結果	備考		
記入例 南丹市健康まちづくり推進協議会	協議会は、住民の健康づくりと幸せなまちづくりのため総合的な方策を研究協議し、地域の実情に応じた対策に関し市長に助言し、その推進を図ります。	20人 (20人以内)	2人(1人)	任期2年 令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日	市議会議員、学識経験者、関係行政機関職員、健康推進に関係する住民組織等代表者、前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者	健康で幸せなまちづくりを南丹市で実践しておられる方	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日	応募人数：〇人 採用人数：〇人		保健医療課	①お知らせなんとんと市HPで広報を行ったが、応募人数が〇人しか集まらず、次回からはLINEやFBでも広報を行うなど周知に努めたい。 ②協議したい内容や公募委員の求める役割について明確に伝えて広報ができた。 ③募集期間が短かったので計画的に実施したい。

(現在公募を行っていないが、公募の導入を検討している審議会等)

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募委員数の目標	選任方法	検討状況	担当課	<p style="text-align: center;">評価・コメント</p> <p style="text-align: center;">(公募の導入を検討中もしくは、導入しないと判断された場合のみ記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p style="text-align: center;">①導入できない課題点は何か</p>
記入例 南丹市行政評価推進委員会	市の実施する行政評価について、第三者の視点から調査、審議し、市長に改善案等を助言します。	1人 〔5人以内〕	1人	経営及び行政評価について、優れた見識を有する	効果的な行政評価の手法を検討中のため、評価実施後に委員会の開催を検討(継続して検討)	人事課	①行政評価の手法について検討しており、調査が進んでいないため。

(専門性を有するなどの理由で公募を行っていない審議会等)

記入例

名称	概要	全体委員数 〔条例〕	公募を導入していない理由	受益者等当事者を公募 することの是非	選任方法	担当課
南丹市防災会議	災害対策基本法第16条第6項の規定に基づき、南丹市地域防災計画を作成し、その実施を推進する。また、市の地域に係る防災に関する重要事項を審議します。	41人 〔45人以内〕	専門性を有する協議であるため、公募は行わない。	市民の安全・安心を確立するため、防災関係機関からの推薦により、委嘱している。	指定地方行政機関の職員、京都府の職員、警察官、南丹市職員、教育委員会、消防団関係者、指定公共機関又は指定地方公共機関の職員、自主防災組織を構成する者又は学識経験者	危機管理対策室

(4) 意見交換会、公聴会、説明会、出前講座

市長はじめ理事者や市職員が地域に出向き、まちづくりの方針や施策の方針を市民に伝えるとともに、市民の声を直接聞きます。

計画				実績			担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)
名称	概要	実施予定時期	意見交換等の手法 申込み方法	実施日	実績 (参加人数等)	備考		
記入例 市政懇談会	市長、副市長、教育長、各部長が地域に出向き、市のまちづくりの方針や施策の方針等について、市民に伝えるとともに、市民の意見を直接聞きます。	開催時期等については調整を行い、お知らせなんたんなどで告知します。	意見交換…懇談会開催時に行います。申込みは不要です。	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日	参加：〇人 〇回開催 第1回〇人参加 第2回〇人参加		①お知らせなんたんとしHPで広報を行ったが、参加者が〇人しか集まらず、次回からはLINEやFBでも広報を行うなど周知に努めたい。 ②趣旨や目的を具体的に示し、理解してもらえるよう周知できた。 ③募集期間が短かったので計画的に実施したい。	

説明会・出前講座

記入例

分野	No.	講座名	主な内容	担当課
総務	1	地域防災対策	南丹市地域防災計画と災害に対する日ごろの構え、災害時の行動などについて説明	危機管理対策室

(5) アンケート

計画						実績			担当課	<p style="text-align: center;">評価・コメント</p> <p style="text-align: center;">(期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p style="text-align: center;">①アンケートの方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)</p>
事業名	実施目的 (活用方法)	アンケートの 調査方法・実施方法	実施予定時期	アンケートの 対象者(人数)	結果の公開可否	実施時期(月)	実績 (回答数等)	備考 (結果の掲載場 所)		
市民意識調査	南丹市総合振興計画の進捗管理のため、市民が自覚していることや市民ニーズ等を把握し、その結果を今後の計画策定の基礎資料として活用する。	無作為抽出、調査票を郵送、回答はオンラインを併用	毎年度 〇~〇月頃	2,500人	可	RO年〇月〇日 ~ RO年〇月〇日	回答:〇件		<p>①より多くの市民の意見を調査するために、回答はオンラインでも可能にし、回答数が増えるようにした。</p> <p>②趣旨や目的を具体的に示し、専門用語の説明を付けるなど理解してもらえよう努めた。</p> <p>③アンケート方法を見直したことで、回答数が増えた。</p>	

記入例

(6) 共同研究

大学等の学生の受け入れや、大学や企業との連携を積極的に推進し、学生の政策形成能力を養成するとともに、地域における協働を推進し専門的分野から地域課題の解決を促します。

計画				実績			担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①大学等の学生の受け入れや大学、企業と連携するための機会を設けたか ②機会を設けた結果どのような成果があったか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)
名称	概要	実施予定時期	調査結果を反映させる事業	実施時期	実績 (実施内容等)	備考		
記入例 南丹市内の高等教育機関ならびに連携協力包括協定締結大学との共同研究	明治国際医療大学、京都府立大学、佛教大学との連携を進めます。	随時	各課の事業に反映	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日			地域振興課	①大学側の考えと行政側の考えが上手くマッチングするように話し合いを設けた。 ②新たな取り組みとして大学側から希望する中学校に講師を派遣して講義をしてもらうことができた。 ③大学と連携することでどのようなことができるのかが不明確なため、庁内に照会を行っても意見がでなかった。

(7) 市民との協定

市民と行政の協定により、新たなまちづくりの仕組みづくりや施策等の実施を積極的に進めます。

計画				実績		担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対する公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)
名称	概要	提案募集の実施予定時期	対象者(地域)	実績 (締結件数等)	備考		
記入例 景観協定	地域で特徴的な景観についての協定を地域住民等で結び、市が認定します。	随時	景観計画区域(美山管内)	〇件		地域振興課	①市HPで掲載をしており、随時提案や相談ができるよう広報を行った。 ②協定に係る事業について、市HPや冊子等で周知できた。 ③パンフレットの内容について、より分かりやすく制度の趣旨や手続き方法が分かるように見直しを行った。

(8) その他の市民参加手続きの実施

その他市民の意見を市政に反映するための取組みを実施します。(例：陳情、ご意見箱など)

計画				実績			担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②交流会の内容が市民の意見を上手く引き出せるものであったか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)
名称	概要	実施予定時期	要望等の対応方法	実施時期	実績 (実施回数、受付件数等)	備考		
記入例 子育て支援関係団体意見交流会	南丹市内に拠点を置いて活動されている子育て支援に関する団体や子育て支援拠点事業に関わりのある団体等が集い、各団体の活動に理解を深めると共に、市内の子育ての環境や課題について共有します。	毎年〇月頃	課題を検証し、対応します。	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日	実施回数：〇回 受付件数：〇件		子育て支援課 ①対象者に郵送・メールで交流会の案内を行った。 ②予め意見等を募集し整理した資料を配布することで、テーマごとに話を進めることができ、スムーズに交流会を行うことができた。 ③テーマごとに意見交流をすることで発言が出やすかった反面、参加者からは時間が短いという意見もあり次回の開催方法を検討したい。	

第3章 協働

市民と行政がそれぞれの役割を自覚し、対等かつ自由な立場で互いを尊重し、役割分担及び補完しあいながら公共的課題の解決に当たることです。

Partnership

市民のみなさんの価値観やライフスタイルの多様化に伴い、市民のまちづくりに対するニーズもますます高度化・多様化しており、行政が現在のシステムでこれら全てに答えていくことは困難な状況となっています。だれもが安全安心で快適に暮らせる魅力あるまちを実現するためには、行政主導型のまちづくりではなく、市民や企業、行政がともに自分たちの役割を理解し合い、それぞれの弱みを、それぞれの強みで補いながら、さまざまなニーズに対応する必要がある、それを実現する仕組みが「市民協働」です。

普段の生活で意識せずに行っていることも多く、今後もそれぞれができることを取り組むことで、まちが元気になる仕組みづくりを進めます。

1. 協働の形態

公共の課題の解決のため、委託、支援等の協働における多様な形態のうち、適切かつ効果的であると認められるものを実施するよう努めるものとします。

- (1) 事業の委託
- (2) 協働（共催）
- (3) 協働（事業協力）
- (4) 協働（支援・補助）

(1) 事業の委託

市が実施責任を負う事業を民間の団体などに実施いただくものです。その事業が効果的に実施できるよう内容によって地域や市民団体等へ委託します。
(現在実施している、若しくは今後実施予定の委託事業)

計画				実績			担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①事業が効果的に実施できるよう取り組むことができたか ②事業に取り組んだ結果どのような成果が得られたか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)
事業名	事業の概要	事業を委託する団体の条件など	実施予定時期	実施時期	実績 (委託先名称等)	備考		
南丹市交通指導員会運営事業	市の有償ボランティアである交通指導員に委嘱された市民が、通学時の交通指導にあたります。	交通安全活動に対する意欲知識のある市民	3月	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日			危機管理対策室	①目的や趣旨に沿った事業を行うことができた。 ②スムーズに計画を進めることができ、事業に参加する市民の支援を行うことができた。 ③参加者を増やすために、広報の方法などを工夫したい。

記入例

(2) 協働（共催）

市民と市が共に主催者（事業主体）となって事業を実施するもので、南丹市が参画する実行委員会等の組織で事業を実施するものです。
 （現時点での共催事業及び今後実施予定の共催事業）

計画				実績			担当課	評価・コメント （期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください） ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他（課題点・良かった点・上手くいった点）
事業名	事業の概要	共催する相手	実施予定時期	実施時期	実績 （実施内容・参加人数等）	備考		
男女共同参画事業『キラリなんたん』	男女共同参画の視点で市民対象の啓発事業を実施します。	南丹市女性ネットワーク会議	男女共同参画週間 RO年〇月〇日～〇日まで	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日	映画上映会を実施 参加人数：〇〇〇人		人権政策課	①お知らせなんたと市HPで広報を行ったが、参加者が〇人しか集まらず、次回からはLINEやFBでも広報を行うなど周知に努めたい。 ②趣旨や目的を具体的に示し、理解してもらえるよう周知できた。 ③募集期間が短かったので計画的に実施したい。

(3) 協働（事業協力）

市民と市が相互の役割を定め、協力して事業を実施するものです。
 （現時点での事業協力及び今後実施予定の事業協力）

記入例

計画				実績			担当課	評価・コメント （期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください） ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他（課題点・良かった点・上手くいった点）
事業名	事業の概要	役割分担など	実施予定時期	実施時期	実績 （実施内容・参加人数等）	備考		
交通安全活動	南丹船井交通安全協会南丹支部とともに、啓発活動を実施します。	市民 運営委員は各活動を自ら実施 行政 事務局として庶務を行うほか、各活動に参加	通年	RO年〇月〇日 ～ RO年〇月〇日	〇〇を実施 参加人数：〇人		①お知らせなんとんと市HPで広報を行ったが、参加者が〇人しか集まらず、次回からはLINEやFBでも広報を行うなど周知に努めたい。 ②趣旨や目的を具体的に示し、理解してもらえるよう周知できた。 ③募集期間が短かったため計画的に実施したい。	

(4) 協働(支援・補助)

市民が自発的・自主的に行う公共的な事業に対し、市が財政的支援や物的支援などを行うものです。

財政的支援 このほかにもさまざまな団体による支援情報などがありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

計画					実績			連絡先	担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)
事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	実施予定時期	実施時期	実績 (申請件数等)	備考			
記入例 南丹市まちづくり活動交付金	市民団体等が提案する公共性及び公益性の高い新たなまちづくり活動に要する経費を補助します。	1年目 上限20万円・3/4 2年目 上限15万円・2/3 3年目 上限10万円・1/2	申請書をご提出ください。	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日	交付決定:〇件 申請件数:〇件		0771-68-0019	地域振興課	①お知らせなんとんと市HPで広報を行ったが、申請が〇件しか集まらず、次回からはLINEやFBでも広報を行うなど周知に努めたい。 ②趣旨や目的を具体的に示し、理解してもらえるよう周知できた。 ③募集期間が短かったので計画的に実施したい。

モノ支援 このほかにも多くの備品が貸し出せる場合がありますので、担当課にお気軽にお問い合わせください。

計画					実績			連絡先	担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①広報の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)
事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	実施予定時期	実施時期	実績 (申請件数等)	備考			
記入例 まちづくり活動に必要な機材、備品、書籍の貸出、名刺作成	南丹市まちづくりデザインセンターに登録(登録料年間1,000円)した団体に無料または有料で貸し出します。	コピー機、輪転機、ラミネーター、FAX、プロジェクター、ビデオカメラ、デジタルカメラ、ボイスレコーダー、三脚、フロアマット、鬼の衣装、ガチャガチャ機、書籍等の貸出、展示ブース、会議スペースの貸出、名刺作成	南丹市まちづくりデザインセンターにお申し込みください。	随時受付	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日	申請件数：〇件		0771-68-3555	まちづくりデザインセンター	①市民の方が必要な際に申請できるよう、HP等で広報できた。 ②趣旨や目的を具体的に示し、理解してもらえるよう周知できた。 ③希望者に対して適切に備品等の貸し出しができた。

ヒト・ノウハウ支援 このほかにも多くの情報等を提供できる場合がありますので、担当課お気軽にお問い合わせください。

計画					実績			連絡先	担当課	<p style="text-align: center;">評価・コメント</p> <p style="text-align: center;">(期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p style="text-align: center;">①情報発信の方法が適切であったか ②市民に対してわかりやすい言葉・内容で周知できたか ③その他(課題点・良かった点・上手くいった点)</p>
事業名	事業の概要	支援・補助の内容	申請方法など	実施予定時期	実施時期	実績 (申請件数等)	備考			
記入例 集落の教科書づくりの推進	集落がI・Uターン者などを迎えるに当たって、地域独自の情報発信を行うツールとして、地域のルールや集落の基本的事項をまとめた冊子の作成を推奨します。	教科書づくりを支援し、空き家バンクとの連動や情報発信などを行います。	随時連絡	随時受付	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日	申請件数：〇件		0771-68-0019	地域振興課	①冊子やHP等でも周知を行い、市民の方に必要な情報を伝えることができた。 ②趣旨や目的を具体的に示し、理解してもらえるよう周知できた。 ③適切な情報発信をし、市民のニーズに応えることができた。

第4章 仕組み

Structure

～協働をすすめる仕組みづくり～

協働を推進するうえでは、お互いが情報を共有し、理解し合い、どのようなまちにしたいかを一緒に話し合う場が必要です。行政が積極的に情報を発信し、市民との意見交換や交流の場を積極的にもち、ひと・もの・コトをつなぐ仕組みづくりを積極的に進めます。

1. 協働をすすめる仕組み

- (1) 情報を積極的に発信します。
- (2) 意見交換の場や交流の仕組みをつくります。
- (3) まちづくりデザインセンターを中心とした、ひと・もの・コトをつなぐ仕組みをつくります。

(1) 情報の積極的な発信

行政には情報が集まりやすいという特性があり、個人情報等を除き、これらを積極的に市民に提供することは協働の推進にとって大変有意義です。さまざまな冊子やニュースなどをできる限り可視化し、市民に積極的な情報提供を図る仕組みをつくります。

計画			実績		連絡先	担当課	<p style="text-align: center;">評価・コメント</p> <p>(期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。</p> <p style="text-align: center;">①収集した情報を適切に発信できたか ②その他(課題点・良かった点・上手くいった点)</p>
事業名	事業の概要	実施予定時期	実施時期	備考			
記入例 情報誌等閲覧促進事業	行政に送付される様々な情報誌などで、市民に有益な情報をまちづくりデザインセンターなどに集約し提供します。	随時	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日		0771-68-0019	地域振興課	<p>①補助金やイベント情報について、まちづくりデザインセンターや集落支援員に共有したほか、市HP等で発信できた。</p> <p>②適切な情報発信をし、市民のニーズに応えることができた。</p>

(2) 意見交換の場や交流の仕組み

協働を推進するうえではお互いを信頼しあい、対等な立場でアイデアなどが出し合える環境が必要です。まちづくりについて気軽に交流できる場づくりを行います。

計画			実績			連絡先	担当課	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。
事業名	事業の概要	実施予定時期	実施時期	実績 (実施件数等)	備考			
記入例 市民活動団体交流事業	市内で活動するNPO法人や市民団体、企業など、まちづくりに関わる様々な主体が集まり、ワークショップ形式で意見交換を行います。	1回程度	令和〇年〇月〇日 ～ 令和〇年〇月〇日	参加人数：〇人		(市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555	地域振興課 まちづくりデザインセンター	①お知らせなんとんと市HPで広報を行ったが、参加人数が〇人しか集まらず、次回からはLINEやFBでも広報を行うなど周知に努めたい。 ②ファシリテーターを活用したことで様々な人から意見を引き出すことができた。 ③募集期間が短かったので計画的に実施したい。

(3) ひと・もの・コトをつなぐ仕組み

市民活動においては、行政からの情報だけでなく、団体同士、団体に必要なものやコトなどをつなぐための中間支援的役割が必要です。南丹市まちづくりデザインセンターが中心となり、それらのコーディネートや資金面でのアドバイスをを行います。

計画			実績			連絡先	担当	評価・コメント (期待していたことに対してどこまでの成果を得ることができたのか具体的に記入ください) ※委員会での審議でのみ使います。市民に対しての公表は行いません。 ①利用者のニーズに応じたアドバイスが適切にできたか ②その他(課題点・良かった点・上手くいった点)
事業名	事業の概要	実施予定時期	実施時期	実績 (実施件数等)	備考			
記入例 相談・紹介事業	まちづくりデザインセンターのコーディネートにより、様々な団体やひと・もの・コトをつなぎ、より効果的で多面的な事業を推進します。	随時 ※開館時間 水・木・金 10時~18時 土 10時~12時	令和〇年〇月〇日 ~ 令和〇年〇月〇日	実施件数：〇件		(市) 0771-68-0019 (センター) 0771-68-3555	地域振興課 まちづくりデザインセンター	①利用者の状況や思いについて把握し、適切に制度の紹介や他団体とのマッチングに繋げることができた。 ②より多くの人の支援ができるようオンラインなどでも相談を受け付けられるよう努める。

審議会のあり方について

下線部分…6月の
委員会で出た意見

1. これまでの審議会で出た意見

- 審議会や市民公募委員に関する情報発信不足
- それぞれの審議会について、運営方法等の改善点や課題点、良い点は何か現状把握する必要がある
- 審議会のあり方に対する提案
 - ・会議の開催日について、土日や夜間の開催など、平日の日中に出席が難しい方も参加しやすい開催日を設定する。
 - ・オンライン会議を積極的に活用し、現地参加以外の参加方法を許容する。
 - ・審議会の第1回目にオリエンテーションを行うなど、初参加の人も参加しやすく発言しやすい仕組みを作る。
 - ・委員会の進行の仕方について課題がある。
 - ・審議会の開催目的が不明確で意見が出しにくいところもある。

2. 今後の取組みについて

①アンケートの実施（実施時期：3月～4月）

【案1】 公募委員向け

対象：南丹市健幸まちづくり推進協議会と南丹市地域創生会議の公募委員

【案2】 委員向け

対象：公募委員を除く全ての委員

②広報チラシの発行（実施時期：6月）

- ・アンケートの結果をもとに令和5年度6月を目途に配布予定

③市への提言について委員会で出た主な課題と提案（令和5年度中にとりまとめ）

- 審議会の開催目的が不明確で分かりにくい。
 - ・審議会の目的や議題内容を明確に示し、協議したい内容のポイントを押さえて予め委員さんに伝えておく。

- 審議会で意見が出しにくい。
 - ・委員長の代わりにファシリテーターをおく。
 - ・1回目にオリエンテーションを行う。

令和5年 月吉日

南丹市市民公募委員の皆様

南丹市市民参加と協働の推進委員会

市民公募委員向け 審議会に関するアンケートの協力願い

陽春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

南丹市市民参加と協働の推進委員会は、市民の方の意見をまちづくりに反映するための取組みや、地域をよりよくするために市民・市民活動団体・事業者・行政らが一緒になって進める取組みを活発にし、広めていくことを目的に活動しています。

今回、市民の方が委員として行政に直接意見を言える場である「審議会」と「市民公募委員制度」についてより具体的に市民の方に知っていただき、興味を持ってもらいたいと思い、チラシや冊子による広報発信の取組みを進めることにしました。

チラシ・冊子では「審議会」や「市民公募委員制度」が何のためにあるのかを分かりやすく伝えるとともに、「誰が、どんな風に、何をしている場なのか」を具体的に想像しやすいように、市民公募委員のみなさまの年代や性別の傾向、委員に応募されたきっかけなどを具体的に掲載したく思っております。

つきましては、本活動の趣旨をご理解いただき、アンケートの回答にご協力をお願いします。ご回答いただきました内容は、広報用に掲載・活用いたしますとともに、今後の各種審議会の運営の参考として市に共有いたします。

年度始め、なにかとご多用のところとは存じますが、より多くの市民の方が「まちづくりに参加してみよう！」と思えるような取組みを進めたいと思っておりますので、どうぞご協力をお願いします。

記

回答方法：アンケートを添付しております。直接ご記入のうえ、同封の返信用封筒で南丹市市民参加と協働の推進委員会事務局（地域振興課）までご回答ください。

回答期限：令和5年4月28日（金）

担当 南丹市市民参加と協働の推進委員会 事務局
(南丹市地域振興課)
電話 0771-68-0019

【市民公募委員向け 審議会に関するアンケート】

※回答が困難な箇所は「無回答」で構いません

審議会名	
氏名	※集計用にものお伺いします。

＜広報媒体に掲載するための質問についてご回答ください＞

1、あなたの年齢・性別を教えてください。

年齢	歳代	性別	
----	----	----	--

2、あなたが市民公募委員に応募した理由を教えてください。（150～200字程度）

3、あなたが委員として審議会に参加するなかで、「こんなことが知れた」、「こんなことを感じた」「こんな発言ができた」といったエピソードを教えてください。（150～200字程度）

（裏面あり）

＜審議会の運営に関して、あなたの意見をお聞かせください。＞

4、審議会を開催する場合、参加しやすいと思う日時、すべてに「○」を付けてください。

	午前中（9時～正午）	午後（13時～17時）	夜間（18時以降）
平日			
土日祝日			

5、審議会にZOOM等のオンライン会議システムを使った参加方法を導入することについて、あなたの気持ちに近いものに「○」を付けてください。

<input type="checkbox"/>	対面で参加できる人でのみ実施した方が良い。
<input type="checkbox"/>	やむを得ない事情がある場合はオンラインで参加する人がいても良いが、 <u>自分はオンラインで参加したくない。</u>
<input type="checkbox"/>	やむを得ない事情がある場合はオンラインで参加する人がいても良いし、 <u>自分もオンラインで参加したい。</u>
<input type="checkbox"/>	対面参加かオンライン参加か、委員が自由に選べると良い。

→上記の選択肢を選ばれた理由を教えてください。

例：遠方からも参加しやすいため、協議内容が複雑で対面の方が理解しやすいため、機器の操作が不得手なため等

6、審議会での発言のしやすさについて、あなたの気持ちに近いものに「○」を付けてください。

<input type="checkbox"/>	自分の意見や質問を自由に発言できる。
<input type="checkbox"/>	司会などから話を振られた場合に限り、自分の意見や質問を発言できる。
<input type="checkbox"/>	自分の意見や質問は自由に発言できない。
<input type="checkbox"/>	発言や質問をしたことがない（しようと思わない）のでわからない。

→審議会での発言がしにくいと感じておられる場合、その理由はなんだと思いますか。

--

7、審議会での協議をより活発化するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

例：初めに制度概要の説明会をする、関連するテーマで委員同士のワークショップを実施する 等

8、その他、審議会や市民公募委員制度についてご意見ありましたらご記入ください。

--

ご協力ありがとうございました。いただいた回答は今後の審議会運営の参考とします。

令和5年 月吉日

南丹市審議会委員の皆様

南丹市市民参加と協働の推進委員会

審議会委員向け 審議会に関するアンケートの協力願い

陽春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

南丹市市民参加と協働の推進委員会は、市民の方の意見をまちづくりに反映するための取組みや、地域をよりよくするために市民・市民活動団体・事業者・行政らが一緒になって進める取組みを活発にし、広めていくことを目的に活動しています。

今回、市民の方が委員として行政に直接意見を言える場である「審議会」について、より発言や参加しやすくするためにはどんな取組みが必要なのかを調査し、今後の各種審議会の運営の参考として市に共有いたします。

年度始め、なにかとご多用のところとは存じますが、より多くの市民の方が「まちづくりに参加してみよう！」と思えるような取組みを進めたいと思っておりますので、どうぞご協力をお願いします。

記

回答方法：アンケートを添付しております。直接ご記入のうえ、同封の返信用封筒で南丹市市民参加と協働の推進委員会事務局（地域振興課）までご回答ください。

回答期限：令和5年4月28日（金）

担当 南丹市市民参加と協働の推進委員会 事務局
(南丹市地域振興課)
電話 0771-68-0019

【委員向け 審議会に関するアンケート】

※回答が困難な箇所は「無回答」で構いません

審議会名	
氏名	※集計用にのみお伺いします。

＜審議会の運営に関して、あなたの意見をお聞かせください。＞

1、審議会を開催する場合、参加しやすいと思う日時、すべてに「○」を付けてください。

	午前中（9時～正午）	午後（13時～17時）	夜間（18時以降）
平日			
土日祝日			

2、審議会にZOOM等のオンライン会議システムを使った参加方法を導入することについて、あなたの気持ちに近いものに「○」を付けてください。

<input type="checkbox"/>	対面で参加できる人でのみ実施した方が良い。
<input type="checkbox"/>	やむを得ない事情がある場合はオンラインで参加する人がいても良いが、 <u>自分はオンラインで参加したくない。</u>
<input type="checkbox"/>	やむを得ない事情がある場合はオンラインで参加する人がいても良いし、 <u>自分もオンラインで参加したい。</u>
<input type="checkbox"/>	対面参加かオンライン参加か、委員が自由に選べると良い。

→上記の選択肢を選ばれた理由を教えてください。

例：遠方からも参加しやすいため、協議内容が複雑で対面の方が理解しやすいため、機器の操作が不得手なため等

3、審議会での発言のしやすさについて、あなたの気持ちに近いものに「○」を付けてください。

<input type="checkbox"/>	自分の意見や質問を自由に発言できる。
<input type="checkbox"/>	司会などから話を振られた場合に限り、自分の意見や質問を発言できる。
<input type="checkbox"/>	自分の意見や質問は自由に発言できない。
<input type="checkbox"/>	発言や質問をしたことがない（しようと思わない）のでわからない。

→審議会での発言がしにくいと感じておられる場合、その理由はなんだと思いますか。

--

（裏面あり）

4、審議会で協議をより活発化するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。

例：初回到制度概要の説明会をする、関連するテーマで委員同士のワークショップを実施する 等

5、その他、審議会についてご意見ありましたらご記入ください。

例：市民公募委員制度を導入してほしい 等

<参加された審議会について、あなたの意見をお聞かせください。>

6、あなたが委員として審議会に参加するなかで、「こんなことが知れた」、「こんなことを感じた」「こんな発言ができた」といったエピソードを教えてください。(150~200字程度)

ご協力ありがとうございました。いただいた回答は今後の審議会運営の参考とします。

一緒にまちのルールを 作りませんか？



市がまちづくりのルールや目標（政策や計画）を決めるとき、市民の方や専門家の意見を聞く場所として「**審議会**」を設置しているのをご存知ですか。

審議会は子育てや教育などの分野ごとにあり、市民の方（**市民公募委員**）や学識者、専門家、関係団体の方がまちをより良くしていくための話し合いやルールづくりを行っています。
みなさんも**市民公募委員**として審議会に参加して、一緒にまちのルールを作りませんか。

市民公募委員制度ってなに？

公募に応じた市民の方が審議会に参加し、「生活者」目線で「もっとこうなったらいいな」といった意見をまちづくりに反映させるための制度です。

市民公募委員ってどんな人？

現在、市民公募委員として 19 名の市民の方が参加されています。
年代は 30～60 歳代で、50 歳代の方が一番多く、男性は 9 人、女性は 10 人です。（令和 4 年 3 月時点）

<市民公募委員制度のある委員会>

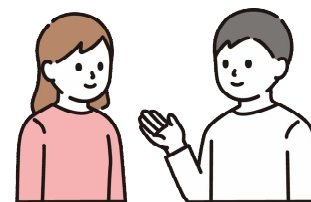
南丹市行政改革推進委員会・南丹市男女共同参画社会推進委員会・南丹市地域創生会議
南丹市環境パートナーシップ会議・南丹市市民参加と協働の推進委員会・南丹市景観審議会
南丹市子ども・子育て会議・南丹市都市計画審議会・南丹市健幸まちづくり推進協議会
南丹市社会教育委員会

※今年度は南丹市健幸まちづくり推進協議会・南丹市地域創生会議の募集がありました。
※委員には任期があり、募集はお知らせなんたんや市の HP で行われます。

市民公募委員になったらどんなことをするの？

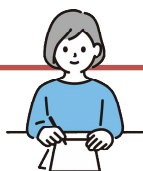
年に数回開催される会議で、まちづくりのルールや計画などに関して意見を言ったり、質問したり、委員のみんなで協議したりします。

「専門的なことを言わないといけないんじゃないか」と思われるかも知れませんが、行政や専門家が気づかない、身近な「生活者」視点での意見を発言してください。



市民公募委員の実際の声が聞きたい！

市民公募委員のみなさんがどのような思いで委員に応募されたかや、会議に参加された感想をご紹介します。「**参加して良かった**」といった意見もあれば、「**十分に対応してもらえなかった**」といった意見もあり、審議会によって会議の活発さや雰囲気にはばらつきがあるのが現状です。みんなで一緒により良い審議会を作っていきましょう。



<応募の理由>

- 豊かな自然を次の世代にも残していけるように、自分にできることがあれば少しでも役に立ちたいと思い、また移住者だからこそその視点も大切ではないかと思い応募しました。市民には何となくハードルが高く感じられる市役所に、いろんな人が入って委員会を作り、市の職員の方々と一緒に作り上げていく活動はとても良いと感じました。
- 市内でどのようなまちづくり活動や団体があるのかこれまで全く興味関心はありませんでしたが、交付金が出ていることを知って、実際にどのような課題解決のための活動に使われているのか知りたいと思い委員に応募しました。
- 夫婦だけの子育てで経験した不安や、支えてくれた地域のママ友達との関わりのなかで自分の子どもだけでなく、地域の子どもたちみんなの成長を見守りながら、親である私たちも成長していけばいいんじゃないかと思うようになり、こんな子育てで経験をした私たちだからこそ、子育てが一段落した今、一市民として子育て支援に生かすことができなにかと思い応募しました。
- 退職してから人と関わるのが少なくなり、まだ時間的にも体力的にも余裕は少し残っているので、ボランティア、子育てサロンをしています。もう少し社会と関わりたいと思い、公募委員に応募しました。

<会議の感想>

- 昨年度は1回だけの参加であり、十分なことができませんでした。参加したことで、南丹市の様々な施策を知ることができましたが、施策によって担当課が分かれているため、連携の難しさを感じました。
- 質問に対して満足のいく答えや対応をしてもらえませんでした。また、学識経験者や行政経験者などの立場で参加されている委員さんからはほとんど意見が出ない静かな委員会なので大変驚きました。
- 南丹市もがんばって色々なことに取り組んでいる事が知れてよかったですと感じました。一方、地域の格差がまだまだあることや、子育てに対する関心を子育て世代以外の人達や地域の方に持ってもらうことが少ないように思いました。
- 委員会でワークショップ形式の意見出しをした際、市職員も委員と同じ立場で参加してもらい、職員である前に一市民としての意見も聞くことができ、大変親近感がわきました。
- なんだか決まったメンバーで運営されていると感じました。



令和5年度南丹市まちづくり活動交付金 審査方法について

1. 4・5年目の申請団体の審査方法について

通常、本交付金は3年間の事業を対象としているが、「事業の継続性、自立性、社会貢献性を鑑み、事業効果があると特に認められる場合は、さらに2年間交付することができる」と定めている。

よって、4・5年目も申請を希望する団体については、通常の審査項目6項目に加え、以下の2項目(①・②)について、各申請ごとに審議頂き、両方の項目に該当する場合にのみ、交付対象とすることとする。

審査項目		内容
①	事業効果があるか	3年間の取組みにより、明確な成果が出ている事業であるか。もしくは、今後、成果が見込めるものであるか。
②	継続して支援を行う 妥当な理由があるか ※右記いずれかに該当するか	<input type="checkbox"/> 事業の性質上、独自に運営資金を得ることが困難な事業である <input type="checkbox"/> 行政が取り組むべき課題に対応する公益性の高い事業である <input type="checkbox"/> 行政が網羅できない課題に対応する公益性の高い事業である <input type="checkbox"/> その他(審議の状況により追加)

(参考) 事業概要書 項目

団体名	
事業名	
主たる受益者	
事業の背景と課題	
事業の目的	
今年度の実施概要	
今年度の到達目標	
事業継続に向けた取組	

※「①事業効果があるか」を確認するために、3年間の取組みにより、どんな成果が出たか明記し、その上で今年度のどのような取組みをするのかを記載いただく。

(例)

過去3年間の事業を通して活動に対する興味・関心を高めることができ、●人(地元:●人 地域外:●人)の方が入会した。区や地元小学校との連携も深まり、●●講座を定期的実施できるようになった。これらの成果を踏まえ、今年度は以下のような事業展開を行いたい。(略)

(参考) 対象となる可能性がある団体

- | | |
|------------------|------------------|
| ①殿田の歴史を考える会 | ②南丹・瓢箪・愛丹会 |
| ③洞志会★ | ④東胡麻文化振興会★ |
| ⑤八木町市民フォーラムの会 | ⑥埴生のシンボル復活プロジェクト |
| ⑦特定非営利活動法人 京都桑田村 | |

※★: 3ヶ年計画に令和5・6年度の交付金利用の記載あり

2. 審査方法の見直しについて

本交付金は、令和2年度から申請書類及び書面ヒアリングに基づく【書面審査】を行っていたが、文面上では状況が正確に読み取れない部分や書面ヒアリングの質疑と回答の内容にズレが生じてしまうことがあった。

この状況に対応するために、令和5年度から【書面審査】と【プレゼン審査（公開）】を交えた形式に審査方法を変更し、より適切な審査の実施を図りたい。

※団体側には負荷を与える面も出てくるが、プレゼン審査を導入することにより、団体の発信力の向上を図るとともに、プレゼンを公開形式で実施することで取組みを周知する場ともしたい。

○審査の全体の流れについて（別紙のとおり）

○プレゼン審査を導入する際の方針について（確認事項）

①開催日の考え方

→ 平日 / 土日 / 日中 / 夜間

②出席できない団体があった場合の対応

→ 不交付 / 追加資料を求めた上で書面による審査を実施

③プレゼンで申請書に記載されていない内容に言及された時の対応

→ 申請書の修正依頼 / 交付決定通知に条件として記載

④プレゼン審査中に行う質疑内容について

→ 質問 / アドバイス / 不適切事項の指摘

⑤保留以外の団体のプレゼン対応について

→ 希望があった場合「保留：審査会」で実施 / 対応しない

○審査の全体の流れについて

【審】 審査員（市民参加と協働の推進委員）

【団】 申請団体

【市】 事務局

	従来の流れ	案1	案2	
各案の主な違い	書面ヒアリングの実施 すべて、書面による審査	書面ヒアリングの廃止 プレゼン審査の実施（対象：保留団体）	書面ヒアリングの継続（対象：1～3年目団体） プレゼン審査の実施（対象：保留団体・4・5年目団体）	
4月	募集開始	募集開始	募集開始	
6月末日	募集バツ	募集バツ	募集バツ	
7月	【市】 申請書の内容確認（ABC評価） → 審査委員に共有 【審】 書面ヒアリング（質問） 【審】 書面での事前審査	【市】 申請書の内容確認（ABC評価） → 審査委員に共有 審査会 方法：書面審査 対象：全申請団体 【審】 審査・協議 （実施内容） ・各評価項目に対する評価 （1～3年目） 事務局の指摘があった部分（B/C） を中心に協議 （4、5年目） 事業効果や社会的影響が大きい点 があるかを、1団体ずつ協議 ・交付、保留、不交付の決定 保留、不交付の理由確認 【市】 交付・保留・不交付 通知	【市】 申請書の内容確認（ABC評価） → 審査委員に共有	【市】 申請書の内容確認（ABC評価） → 審査委員に共有
			【1～3年目】	【4、5年目】
8月	【市】 質問の取りまとめ 事前審査の取りまとめ 【団】 書面ヒアリング（回答） 【市】 回答の取りまとめ 【市】 申請書のABC評価 → 審査委員に内容をメール共有 審査会 方法：書面審査 対象：全申請団体 【審】 審査・協議 （実施内容） ・各評価項目に対する評価 事前審査で指摘のあった部分（B/C） を中心に協議 ・交付、保留、不交付の決定 保留、不交付の理由確認 【市】 交付・保留・不交付 通知	保留：審査会 方法：プレゼン審査 対象：保留団体 【審】 審査・協議 【団】 プレゼン発表 （実施内容） ・団体によるプレゼン（質疑応答） ・各評価項目に対する評価 審査で指摘のあった部分を中心に協議 ・交付、不交付の決定 不交付の理由確認 【市】 交付・不交付 通知	【市】 質問の取りまとめ 事前審査の取りまとめ 【団】 書面ヒアリング（回答） 【市】 回答の取りまとめ 【市】 申請書のABC評価 → 審査委員に内容をメール共有 審査会 方法：書面審査 対象：全申請団体 【審】 審査・協議 （実施内容） ・各評価項目に対する評価 事前審査で指摘のあった部分（B/C） を中心に協議 ・交付、保留、不交付の決定 保留、不交付の理由確認 【市】 交付・保留・不交付 通知	【市】 質問の取りまとめ 事前審査の取りまとめ 【団】 書面ヒアリング（回答） 【市】 回答の取りまとめ 【市】 申請書のABC評価 → 審査委員に内容をメール共有 審査会 方法：プレゼン審査 対象：全申請団体 【審】 審査・協議 【団】 プレゼン発表 （実施内容） ・団体によるプレゼン（質疑応答） ・事業効果や社会的影響が大きい点 があるかを、1団体ずつ協議 ・交付、不交付の決定 不交付の理由確認 【市】 交付・不交付 通知
			【市】 交付・保留・不交付 通知	【市】 交付・保留・不交付 通知
9月 ～ 10月	【団】 申請書の再提出 【市】 申請書の確認（ABC評価） → 審査委員に内容をメール共有 保留：審査会 方法：書面審査 対象：保留団体 （実施内容） ・各評価項目に対する評価 審査で指摘のあった部分を中心に協議 ・交付、不交付の決定 不交付の理由確認 【市】 交付・不交付 通知	保留：審査会 方法：プレゼン審査 対象：保留団体 （実施内容） ・各評価項目に対する評価 審査で指摘のあった部分を中心に協議 ・交付、不交付の決定 不交付の理由確認 【市】 交付・不交付 通知	【団】 申請書の再提出 【市】 申請書の確認（ABC評価） → 審査委員に内容をメール共有 保留：審査会 方法：書面審査 対象：全申請団体 （実施内容） ・各評価項目に対する評価 事前審査で指摘のあった部分（B/C） を中心に協議 ・交付、保留、不交付の決定 保留、不交付の理由確認 【市】 交付・保留・不交付 通知	【団】 申請書の再提出 【市】 申請書の確認（ABC評価） → 審査委員に内容をメール共有 保留：審査会 方法：プレゼン審査 対象：保留団体 （実施内容） ・各評価項目に対する評価 審査で指摘のあった部分を中心に協議 ・交付、不交付の決定 不交付の理由確認 【市】 交付・不交付 通知
			【市】 交付・保留・不交付 通知	【市】 交付・保留・不交付 通知

参考	※プレゼン審査の時間（想定）
	1団体あたり15分 内訳：5分 説明 10分 質疑応答 ※全団体のプレゼン後に協議を実施 ※追加資料・パワポの使用可 ※対面・ZOOM、代表・代理問わない